



資料

- 1 長沼町生涯学習推進条例
- 2 長沼町生涯学習推進体制
- 3 長沼町生涯学習推進本部要綱
- 4 長沼町生涯学習推進計画策定委員会委員名簿

生涯学習アンケート調査結果

1 長沼町生涯学習推進条例

平成13年3月21日

条例第12号

改正 平成16年9月30日条例第20号

目次

第1章 総則（第1条—第4条）

第2章 生涯学習策定委員会（第5条—第8条）

第3章 推進協議会（第9条—第12条）

第4章 雑則（第13条）

附則

第1章 総則

（目的）

第1条 この条例は、町民一人ひとりが自発的な意思に基づき、生涯にわたって行われる日常生活の向上や職業能力開発及び地域福祉などの学習活動を積極的に推進することを目的とする。

（基本理念）

第2条 生涯学習の推進に当たっては、学習の担い手が町民であることを認識し、その自主性と創造性が発揮されるよう配慮しなければならない。

（支援等）

第3条 生涯学習の推進は、町の総合施策に位置付けし、町民の生涯学習活動を支援するものとする。

2 生涯学習の実践に当たっては、関係機関及び関係団体等との連携を図りながら推進するものとする。

（推進計画）

第4条 生涯学習を総合的かつ計画的に推進するため、長沼町生涯学習推進計画（以下「推進計画」という。）を策定する。

第2章 生涯学習策定委員会

（策定委員会）

第5条 推進計画を策定するため、長沼町生涯学習推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

2 策定委員会は、町長の諮問に応じ、推進計画策定に関し、必要な調査及び審議を行う。

3 策定委員会は、委員25人以内で組織する。

（委員の委嘱と任期）

第6条 策定委員会の委員は、生涯学習に関し、識見を有するもののうちから町長が委嘱する。

2 策定委員会の委員の任期は、推進計画に係る答申をもって終了する。

（委員長及び副委員長）

第7条 策定委員会に委員長、副委員長各1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、策定委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 策定委員会の会議は、委員長が招集する。

2 策定委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

第3章 推進協議会

(推進協議会)

第9条 推進計画に基づく、生涯学習活動の推進と総合的な連絡調整を図るため、長沼町生涯学習推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

2 協議会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

(1) 町内の関係機関及び関係団体の長又は長の推薦する者

(2) 生涯学習に識見を有する者

3 協議会の委員は、30人以内で組織する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(任務)

第10条 協議会は、生涯学習活動を実践するため、次の任務を行う。

(1) 生涯学習活動の実践に関する連携及び連絡調整に関すること。

(2) 生涯学習の実践活動に関する調査、研究に関すること。

(3) その他生涯学習の実践活動に必要な事項に関すること。

(会長及び副会長)

第11条 協議会に会長1人及び副会長2人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により選出する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 会長に事故があるときは、会長の指名する副会長がその職務を代理する。

(会議)

第12条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

第4章 雑則

(委任)

第13条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、町長が定める。

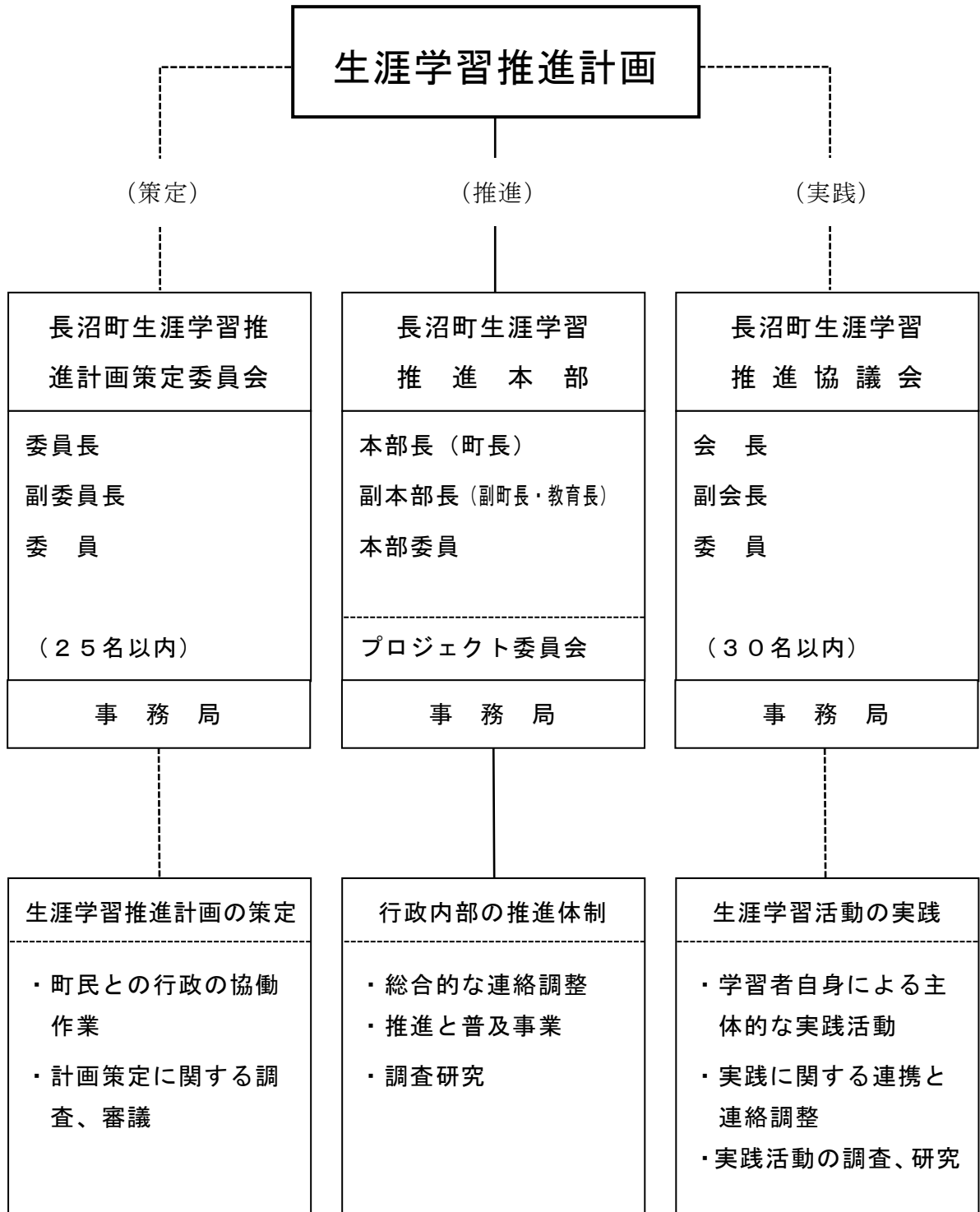
附 則

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成16年9月30日条例第20号）

この条例は、平成16年10月1日から施行する。

2 長沼町生涯学習推進体制



3 長沼町生涯学習推進本部設置要綱

平成13年6月25日
制定

改正 平成16年10月1日

平成19年3月30日

長沼町生涯学習推進本部要綱（平成3年3月28日制定）の全部を改正する。

（目的）

第1条 この要綱は、長沼町の生涯学習行政を総合的かつ効果的に推進するため、庁内の総合調整及び調査研究を行うことを目的とする。

（設置）

第2条 前条の目的を達成するため、長沼町生涯学習推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

（事業）

第3条 推進本部は、第1条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 生涯学習に関する基本的方策に関すること。
- (2) 生涯学習の推進に係る総合調整及び連携体制に関すること。
- (3) 生涯学習に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 生涯学習の啓発、奨励に関すること。
- (5) その他生涯学習推進に必要な事項

（推進本部）

第4条 推進本部は、本部長、副本部長、本部委員をもって構成する。

2 本部長は、町長をもって充て、推進本部を代表し総理する。

3 副本部長は、副町長及び教育長をもって充て、本部長事故があるときは、これを代理する。

4 本部委員は、本部長が委嘱し、庁内の関係課、局、所の課長等を充てる。

5 推進本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

（プロジェクト委員会）

第5条 推進本部に第3条の事業を推進するため、プロジェクト委員会を置く。

2 プロジェクト委員は、庁内の関係職員の中から本部長が委嘱する。

3 プロジェクト委員会に委員の互選により委員長を置く。

4 プロジェクト委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

（事務局）

第6条 推進本部の会務を処理するため事務局を教育委員会に置く。

2 事務局に事務局長、事務局次長及び局員を置き、庁内の関係職員の中から本部長が委嘱する。

（補則）

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成13年6月25日から施行する。

附 則（平成16年10月1日）

この要綱は、平成16年10月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日）


この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

4 長沼町生涯学習推進計画策定委員会委員名簿

任期 令和6年4月1日～長沼町生涯学習推進計画答申の日まで

No.	名前	所属・団体等	委嘱年月日	備考
1	青木 広明	社会教育委員（長沼高等学校長）	令和6年4月1日	
2	長井 修	社会教育委員（長沼町スポーツ協会長）	令和6年4月1日	
3	望月 良典	社会教育委員（長沼町文化協会長）	令和6年4月1日	
4	服部 まゆみ	社会教育委員（長沼町女性連絡協議会長）	令和6年4月1日	
5	安宅 信太郎	社会教育委員（長沼町青年団体協議会長）	令和6年4月1日	
6	窪田 浩季	社会教育委員（長沼町教頭会推薦）	令和6年4月1日	
7	黒田 泰明	社会教育委員（学識経験者）	令和6年4月1日	
8	武内 みのり	社会教育委員（学識経験者）	令和6年4月1日	
9	吉本 敏江	社会教育委員（学識経験者）	令和6年4月1日	
10	市東 保子	社会教育委員（学識経験者）	令和6年4月1日	
11	藤川 和信	社会教育委員（公募委員）	令和6年4月1日	
12	山下 光雄	長沼町文化財保護委員会推薦	令和6年4月1日	
13	脇坂 淳	長沼アート協会推薦	令和6年4月1日	
14	真田 隆弘	長沼ロータリークラブ推薦	令和6年4月1日	
15	富澤 正義	ながぬま農業協同組合推薦	令和6年4月1日	
16	秋葉 容子	ながぬま農業協同組合推薦	令和6年4月1日	
17	山本 克幸	長沼町商工会推薦	令和6年4月1日	
18	森下 由美子	長沼町商工会推薦	令和6年4月1日	
19	東山 哲智	長沼町スポーツ少年団本部推薦	令和6年4月1日	

（令和6年4月1日現在）



第3期長沼町生涯学習推進計画後期基本計画策定に係る

町民アンケート調査結果

目 次

1. 生涯学習アンケート調査について	1
2. 基礎調査結果	2
3. 生涯学習に関する調査結果	5
4. その他回答	27
5. 個人の意見（自由記述）	32

1. 生涯学習アンケート調について

1 調査の目的

町民を対象に、日ごろ取り組んでいる生涯学習の現状とそれらに対する意見、ニーズ等を調査し、第3期長沼町生涯学習推進計画 後期基本計画（令和7年度～令和10年度）策定に向けての基礎資料とする。

2 調査対象

町内在住の方

3 調査方法

長沼町総合振興計画と合同で行った。

「広報ながぬま」令和6年9月号に調査票を同梱し各世帯へ配付。

郵送またはWeb（長沼町公式LINE）により回答

4 調査時期

令和6年9月

5 回収結果

配布数 4,523 回収数 1,020（郵送852、Web168）

第3期生涯学習基本計画策定時より総合振興計画と合同で実施、また今回より長沼町公式LINEにおいても回答できるようアンケート調査を実施し回収率を上げるよう努めた。

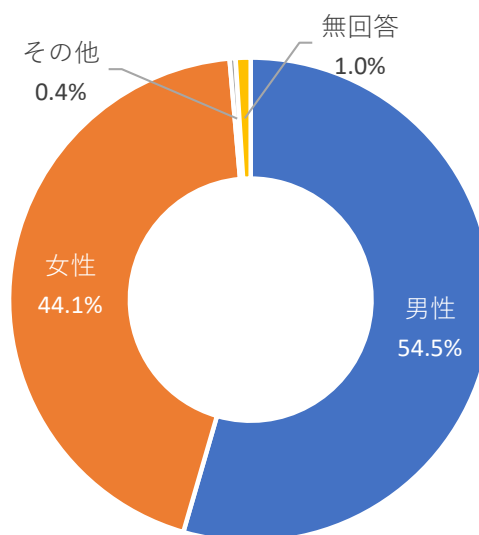
6 調査結果のみかた

- (1) 回答結果の割合（%）は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入した。そのため、単数回答（複数の選択肢からひとつの回答）であっても、合計値が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の回答）の設問の場合、回答者の総数に対する、選択肢ごとの回答者数の割合を示している。そのため合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) クロス集計表の黄色の箇所は、その項目で一番多い数値を示している。
- (4) 本文中の表、グラフにおける選択肢表記は、見やすさへの配慮のため語句を簡略化している場合がある。
- (5) 3. 生涯学習に関する調査結果（P5～）において無回答についてサンプル数（全体）以外は集計に含んでおりません。

2. 基礎調査結果

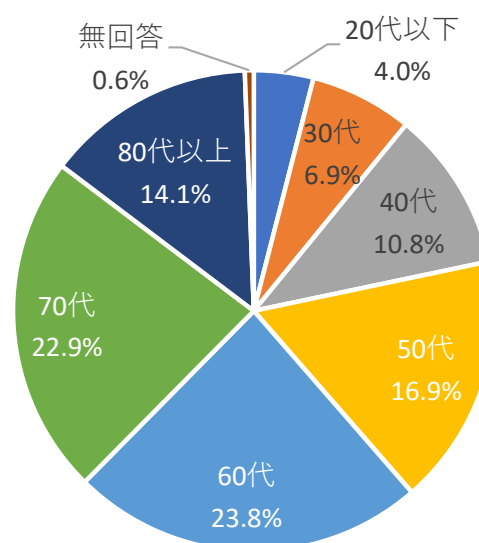
問1 あなたの性別は？

区分	回答数	比率
男性	556	54.5%
女性	450	44.1%
その他	4	0.4%
無回答	10	1.0%
計	1,020	100.0%



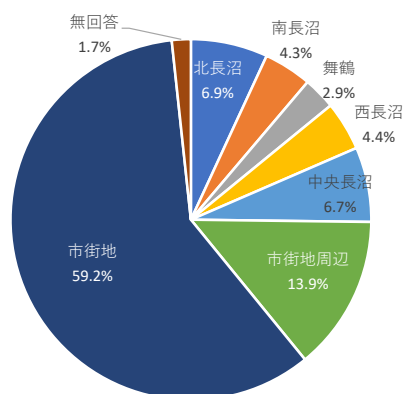
問2 あなたの年齢は？

区分	回答数	比率
20代以下	41	4.0%
30代	70	6.9%
40代	110	10.8%
50代	172	16.9%
60代	243	23.8%
70代	234	22.9%
80代以上	144	14.1%
無回答	6	0.6%
計	1,020	100.0%



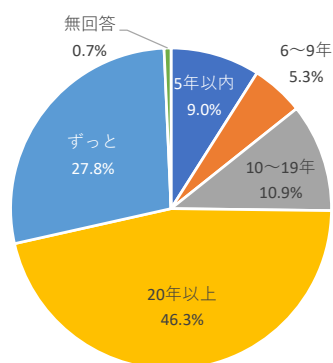
問 3 あなたがお住まいの地区は？

区 分	回答数	比 率
北長沼地区（1～5区、7～8区、北市区）	70	6.9%
南長沼地区（17～18区、20～22区、27区）	44	4.3%
舞鶴地区（23～24区、31区）	30	2.9%
西長沼地区（28～30区）	45	4.4%
中央長沼地区（6区、19区、25～26区）	68	6.7%
市街地周辺地区（9～16区、馬追台区）	142	13.9%
市街地地区（上記以外の行政区）	604	59.2%
無回答	17	1.7%
計	1,020	100.0%



問 4 あなたは長沼町に住んで何年になりますか？

区 分	回 答 数	比 率
5年以内	92	9.0%
6～9年	54	5.3%
10～19年	111	10.9%
20年以上	472	46.3%
ずっと	284	27.8%
無回答	7	0.7%
計	1,020	100.0%



問5 あなたのお勤め先と職業は？

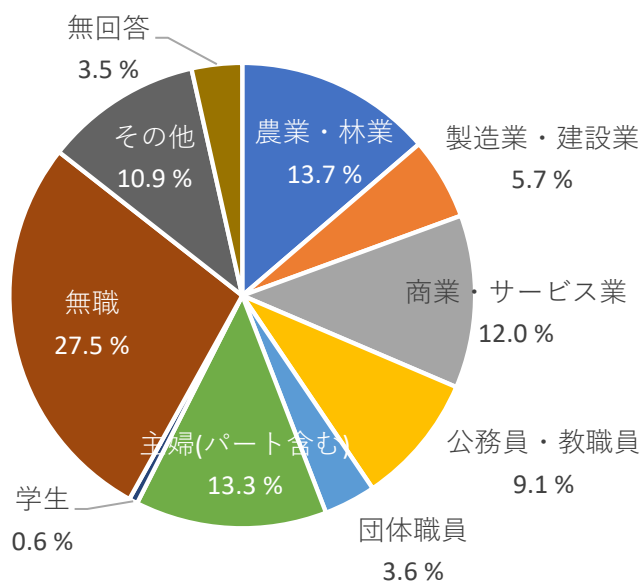
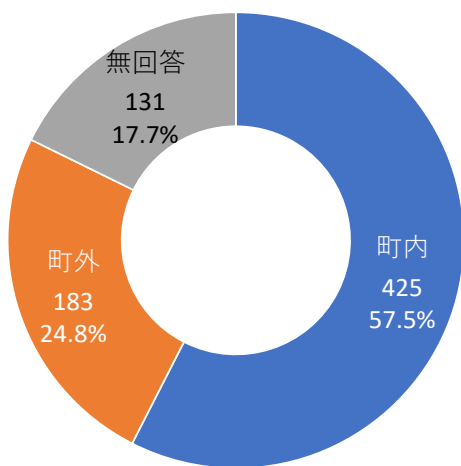
(兼業の方は主となる職業をお答えください)

【n = 1,020】

回答者（無職の方を除く）の勤務先は、町内 57.5%、町外 24.8%であった。

職業については、「無職」が 27.5%と最も多く、以下「農業・林業」13.7%、「主婦（パート含む）」13.3%、「商業・サービス業」12.0%と続く。

区分	町内	町外	無回答	総数	比率
農業・林業	118	5	17	140	13.7 %
製造業・建設業	21	36	1	58	5.7 %
商業・サービス業	68	48	6	122	12.0 %
公務員・教職員	66	23	4	93	9.1 %
団体職員	29	6	2	37	3.6 %
主婦(パート含む)	59	13	64	136	13.3 %
学生	3	2	1	6	0.6 %
無職	21	2	258	281	27.5 %
その他	54	45	12	111	10.9 %
無回答	7	5	24	36	3.5 %
計	446	185	389	1,020	100.0 %

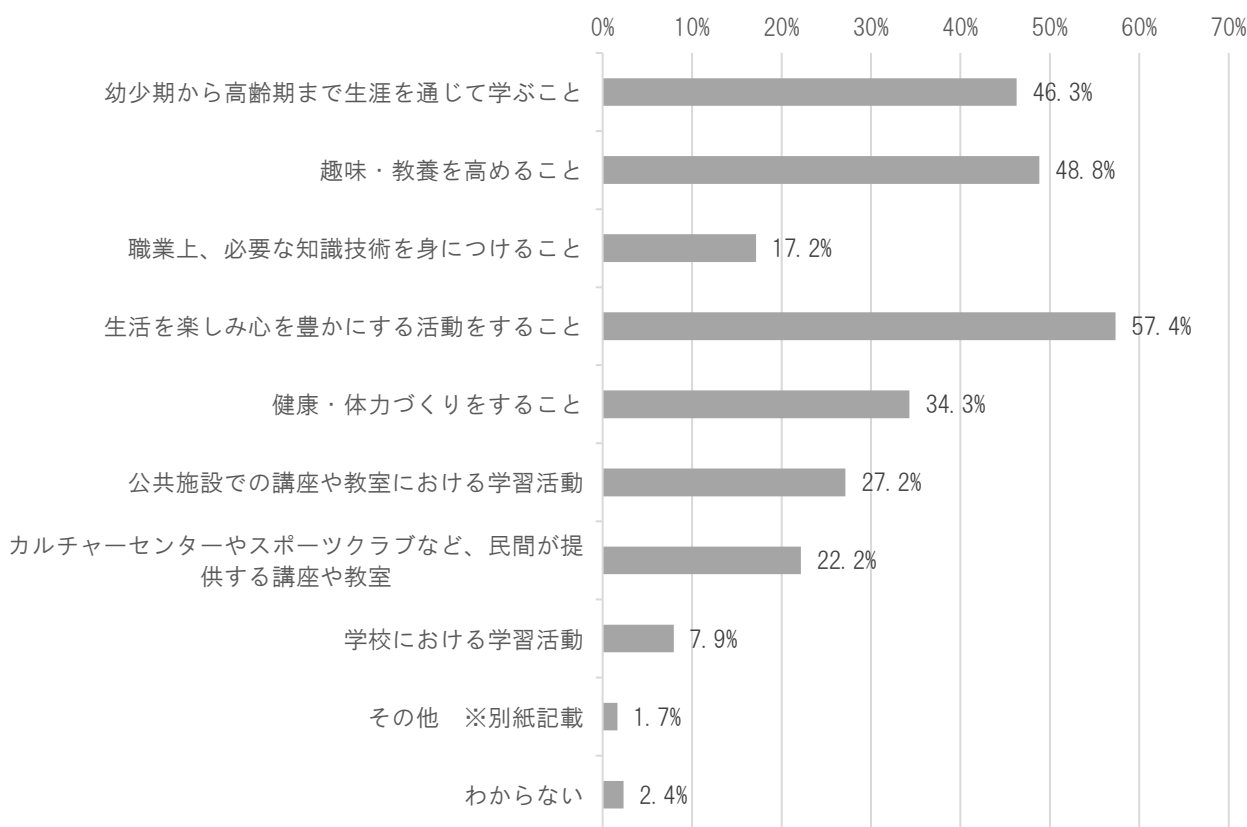


3. 生涯学習に関する調査結果

問 13 あなたは、生涯学習という言葉からどのようなイメージを持ちますか？ (該当する全てに○)

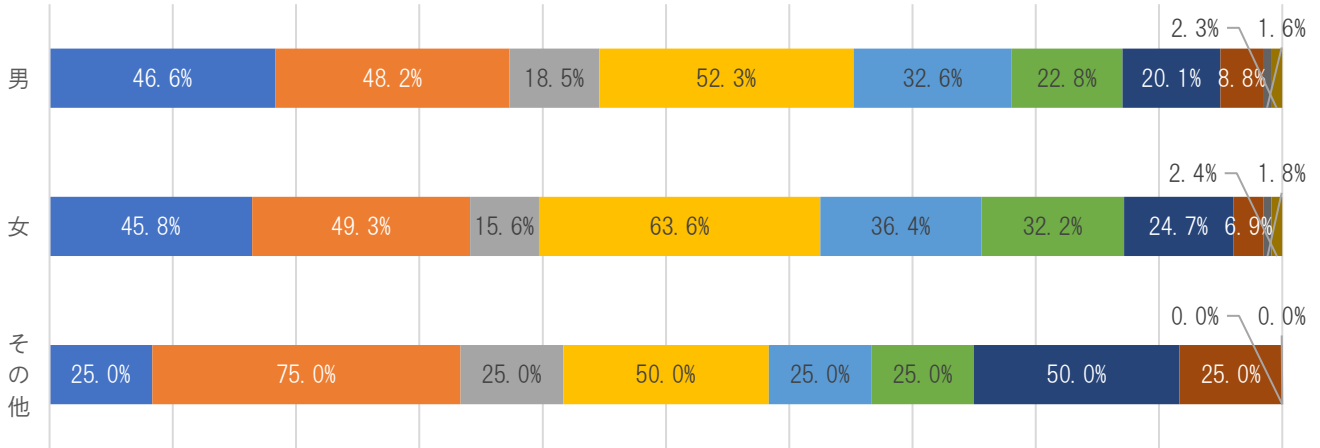
- 1 幼少期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと
- 2 趣味・教養を高めること
- 3 職業上、必要な知識技術を身につけること
- 4 生活を楽しみ心を豊かにする活動をする
- 5 健康・体づくりをすること
- 6 公共施設での講座や教室における学習活動
- 7 カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間が提供する講座や教室
- 8 学校における学習活動
- 9 その他（具体的に）
- 10 わからない

生涯学習のイメージ



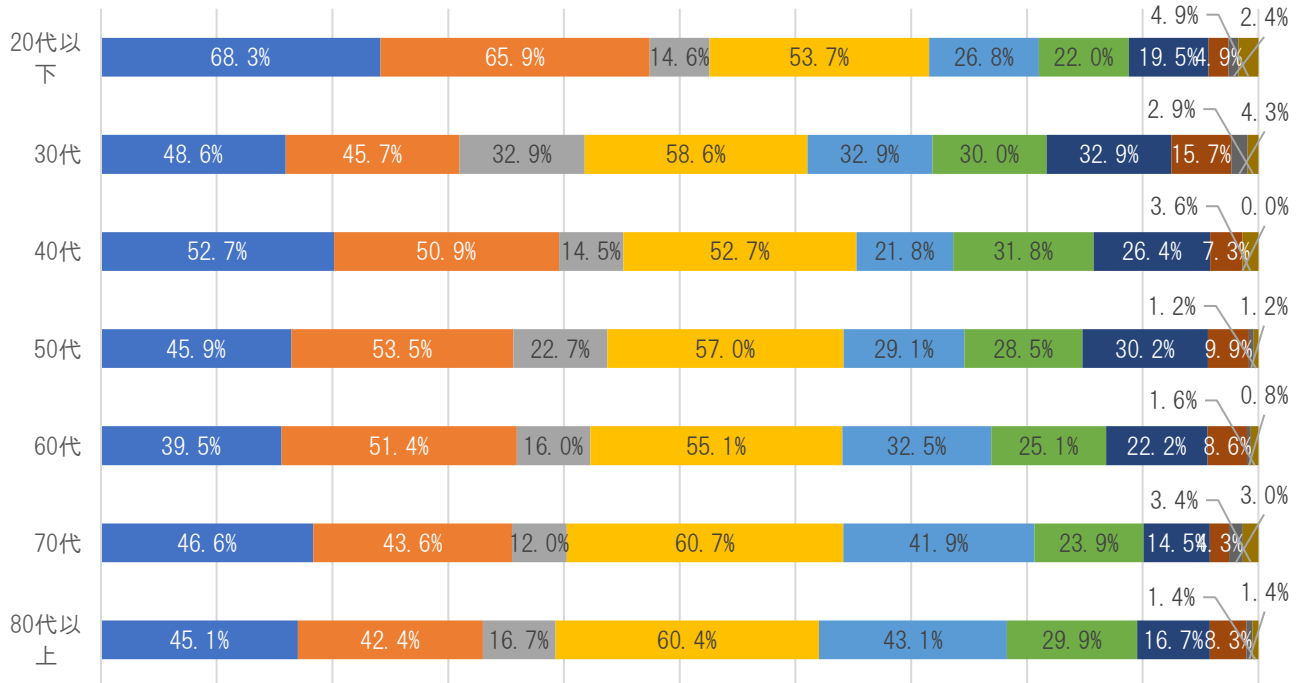
「生活を楽しみ心を豊かにする活動をする」が57.4%と最も多く、次に「趣味・教養を高めること」が48.8%と続く。

性別ごとの特徴



- 幼少期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと
- 趣味・教養を高めること
- 職業上、必要な知識技術を身につけること
- 生活を楽しみ心を豊かにする活動をする
- 健康・体力づくりをする
- 公共施設での講座や教室における学習活動
- カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間が提供する講座や教室
- 学校における学習活動
- その他 ※別紙記載
- わからない

年代別の特徴



- 幼少期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと
- 趣味・教養を高めること
- 職業上、必要な知識技術を身につけること
- 生活を楽しみ心を豊かにする活動をする
- 健康・体力づくりをする
- 公共施設での講座や教室における学習活動
- カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間が提供する講座や教室
- 学校における学習活動
- その他 ※別紙記載
- わからない

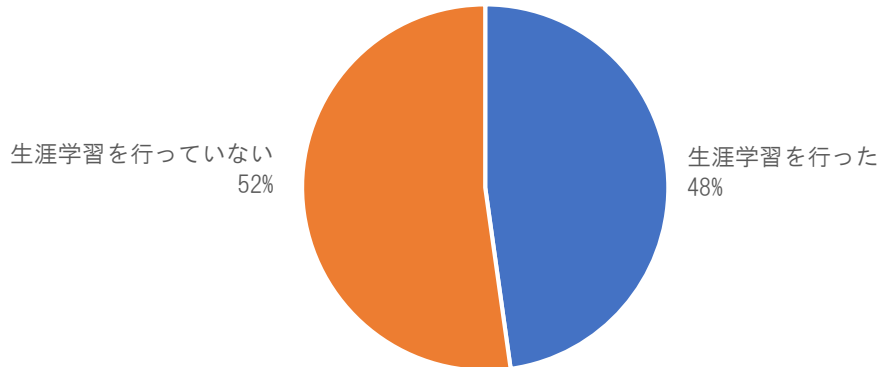
【性別・年代別×生涯学習のイメージ】

	サンプル数	と 幼少期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと	趣味・教養を高めること	職業上、必要な知識技術を身につけること	と 生活を楽しみ心を豊かにする活動をするこ	健康・体力づくりをすること	公共施設での講座や教室における学習活動	カルチャーセンターやスポーツクラブなど、民間が提供する講座や教室	学校における学習活動	その他 ※別紙記載	わからない
全体	1020	472	498	175	585	350	277	226	81	17	24
【性別】											
男性	556	259	268	103	291	181	127	112	49	9	13
女性	450	206	222	70	286	164	145	111	31	8	11
その他	4	1	3	1	2	1	1	2	1	0	0
【年代別】											
20代	41	28	27	6	22	11	9	8	2	1	2
30代	70	34	32	23	41	23	21	23	11	3	2
40代	110	58	56	16	58	24	35	29	8	0	4
50代	172	79	92	39	98	50	49	52	17	2	2
60代	243	96	125	39	134	79	61	54	21	2	4
70代	234	109	102	28	142	98	56	34	10	7	8
80代以上	144	65	61	24	87	62	43	24	12	2	2

男性・女性ともに「生活を楽しみ心を豊かにする活動をするこ」が1位となっている。
 年代別では、どの世代においても「生活を楽しみ心を豊かにする活動をするこ」の割合が多い。次に「幼少期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこ」・「趣味・教養を高めるこ」の割合が多くなっている。

問 1 4 : あなたは、今まで「生涯学習」を行いましたか？

生涯学習を行いましたか



【性別・年代別×生涯学習を行いましたか】

	サンプル数	生涯学習を行った	生涯学習を行っていない
全体	1020	441	482
【性別】			
男性	556	210	284
女性	450	226	193
その他	4	2	1
【年代別】			
10代以下	4	2	2
20代以下	41	19	22
30代	70	40	30
40代	110	46	64
50代	172	74	85
60代	243	105	119
70代	234	92	113
80代以上	144	62	49

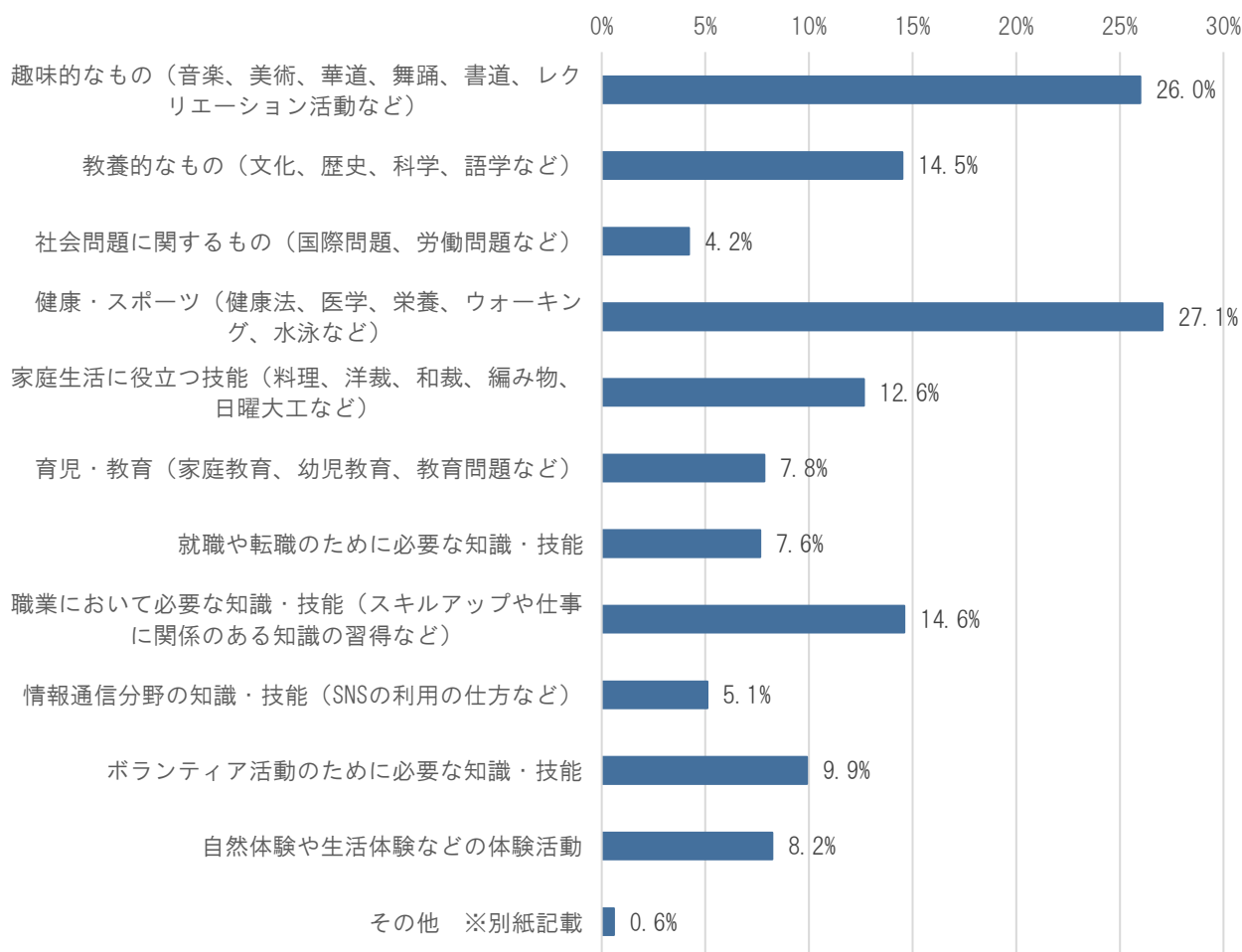
全体で「生涯学習を行っていない」割合が上回った。

【問14で1. 行ったと回答された方のみにお聞きします。】

問15-1：あなたが今まで行った生涯学習について、あてはまるものすべてにお選びください。

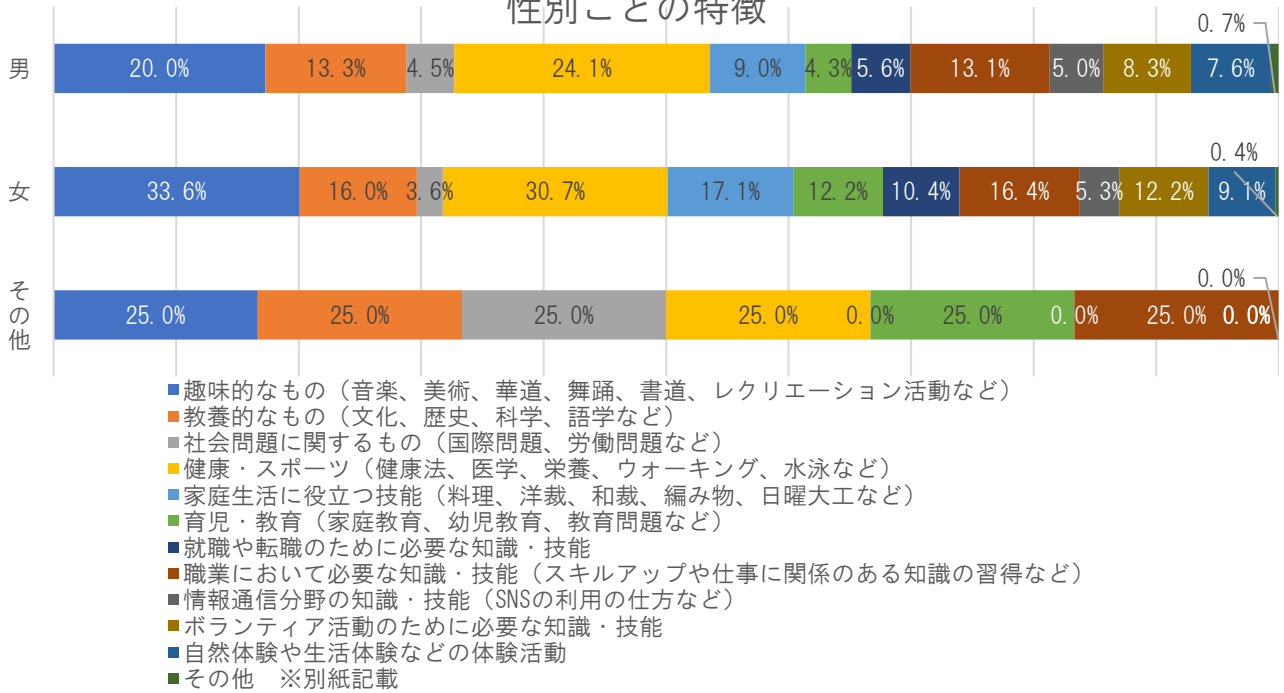
- 1 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）
- 2 教養的なもの（文化、歴史、科学、語学など）
- 3 社会問題に関するもの（国際問題、労働問題など）
- 4 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ウォーキング、水泳など）
- 5 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物、日曜大工など）
- 6 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
- 7 就職や転職のために必要な知識・技能
- 8 職業において必要な知識・技能（スキルアップや仕事に関係のある知識の習得など）
- 9 情報通信分野の知識・技能（SNSの利用の仕方など）
- 10 ボランティア活動のために必要な知識・技能
- 11 自然体験や生活体験などの体験活動
- 12 その他（具体的に

今まで行った生涯学習は？

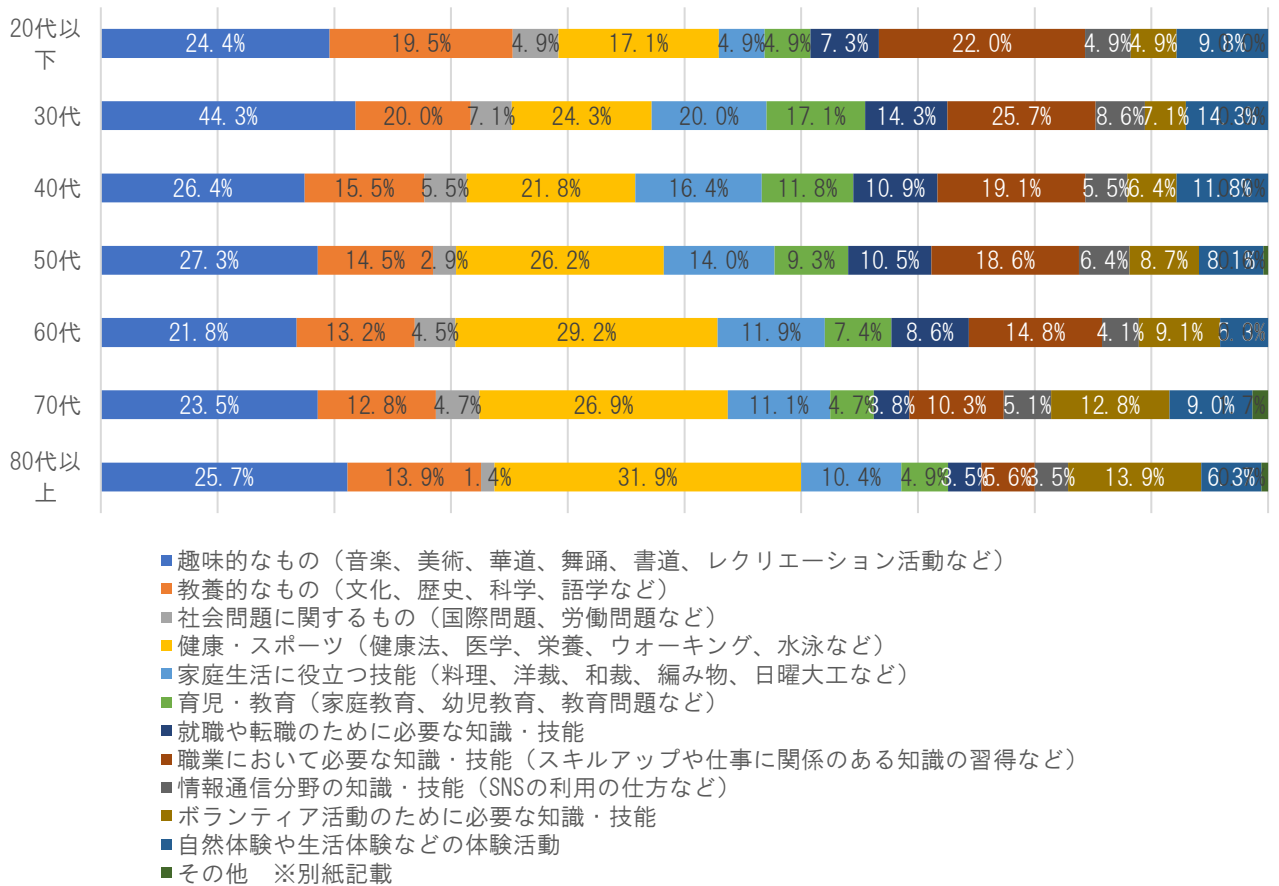


健康・スポーツが27.1%と最も多く、次に趣味的なものが26.0%と続く。

性別ごとの特徴



年代別の特徴



【性別・年代別×今まで行った生涯学習は？】

	サンプル数	趣味的なもの (踊、書道、レクリエーション活動など)	教養的なもの (文化、歴史、科学、語学など)	社会問題に関するもの (国際問題、労働問題など)	健康・スポーツ (健康法、医学、栄養、ウォーキング、水泳など)	家庭生活に役立つ技能 (料理、洋裁、和裁、編み物、日曜大工など)	育児・教育 (家庭教育、幼児教育、教育問題など)	就職や転職のために必要な知識・技能	職業において必要な知識・技能 (スキルアップや仕事に関係のある知識の習得など)	情報通信分野の知識・技能 (SNSの利用の仕方など)	ボランティア活動のために必要な知識・技能
全体	1020	265	148	43	276	129	80	78	149	52	101
【性別】											
男性	556	111	74	25	134	50	24	31	73	28	46
女性	450	151	72	16	138	77	55	47	74	24	55
その他	4	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0
【年代別】											
20代以下	41	10	8	2	7	2	2	3	9	2	2
30代	70	31	14	5	17	14	12	10	18	6	5
40代	110	29	17	6	24	18	13	12	21	6	7
50代	172	47	25	5	45	24	16	18	32	11	15
60代	243	53	32	11	71	29	18	21	36	10	22
70代	234	55	30	11	63	26	11	9	24	12	30
80代以上	144	37	20	2	46	15	7	5	8	5	20

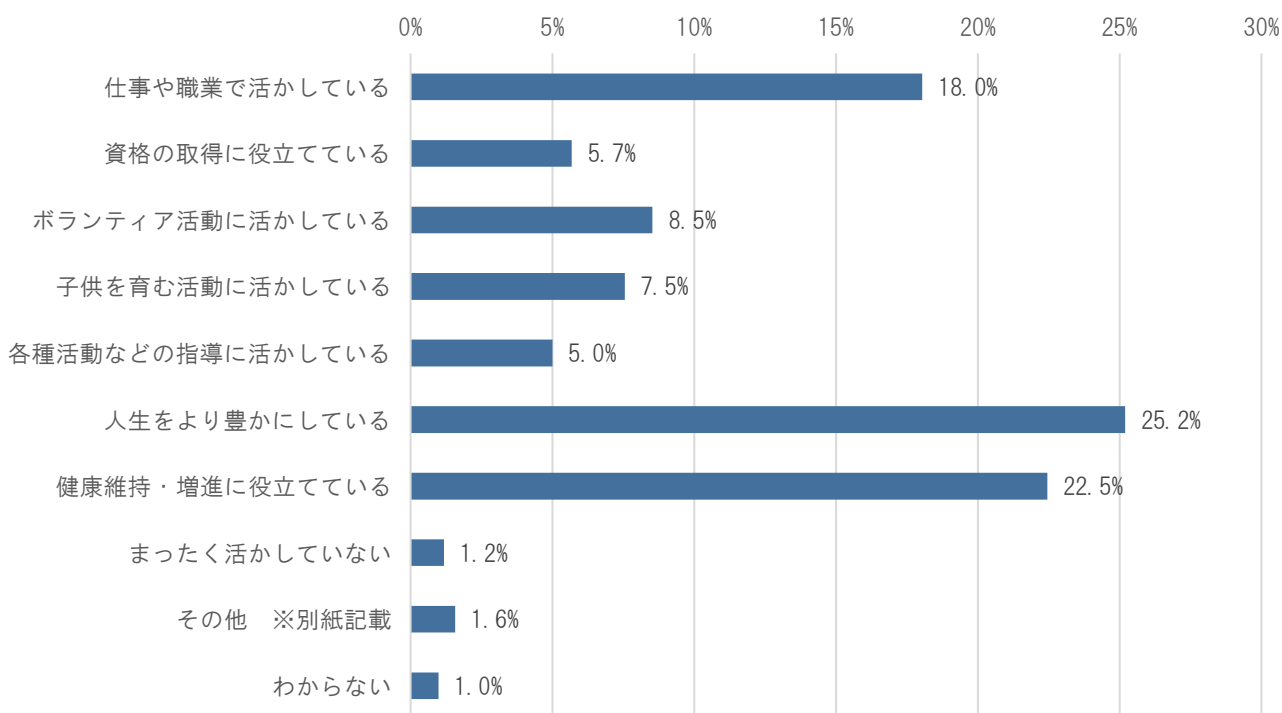
男性は「健康・スポーツ」が1位となっており、女性は「趣味的なもの」が1位となっている。年代別では50代以下は「趣味的なもの」、60代以上は「健康・スポーツ」の割合が多い。また、働いている世代の方は「職業において必要な知識・技能」の割合が多く見られる。

【問14で1. 行ったと回答された方のみにお聞きします。】

問15-2：あなたは、その生涯学習を通じて身に付けた知識や技術や経験をどのように活かしていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

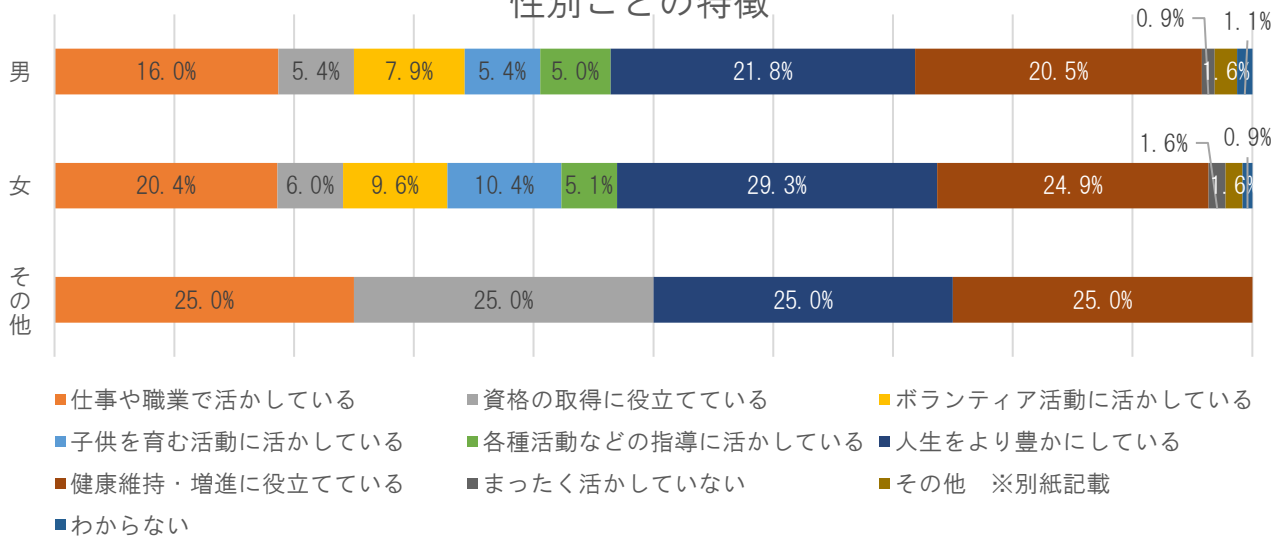
- 1 仕事や職業で活かしている
- 2 資格の取得に役立てている
- 3 ボランティア活動に活かしている
- 4 子供を育む活動に活かしている
- 5 各種活動などの指導に活かしている
- 6 人生をより豊かにしている
- 7 健康維持・増進に役立てている
- 8 まったく活かしていない
- 9 その他（具体的に）
- 10 わからない

身に付けた知識等どのように活かしていますか？

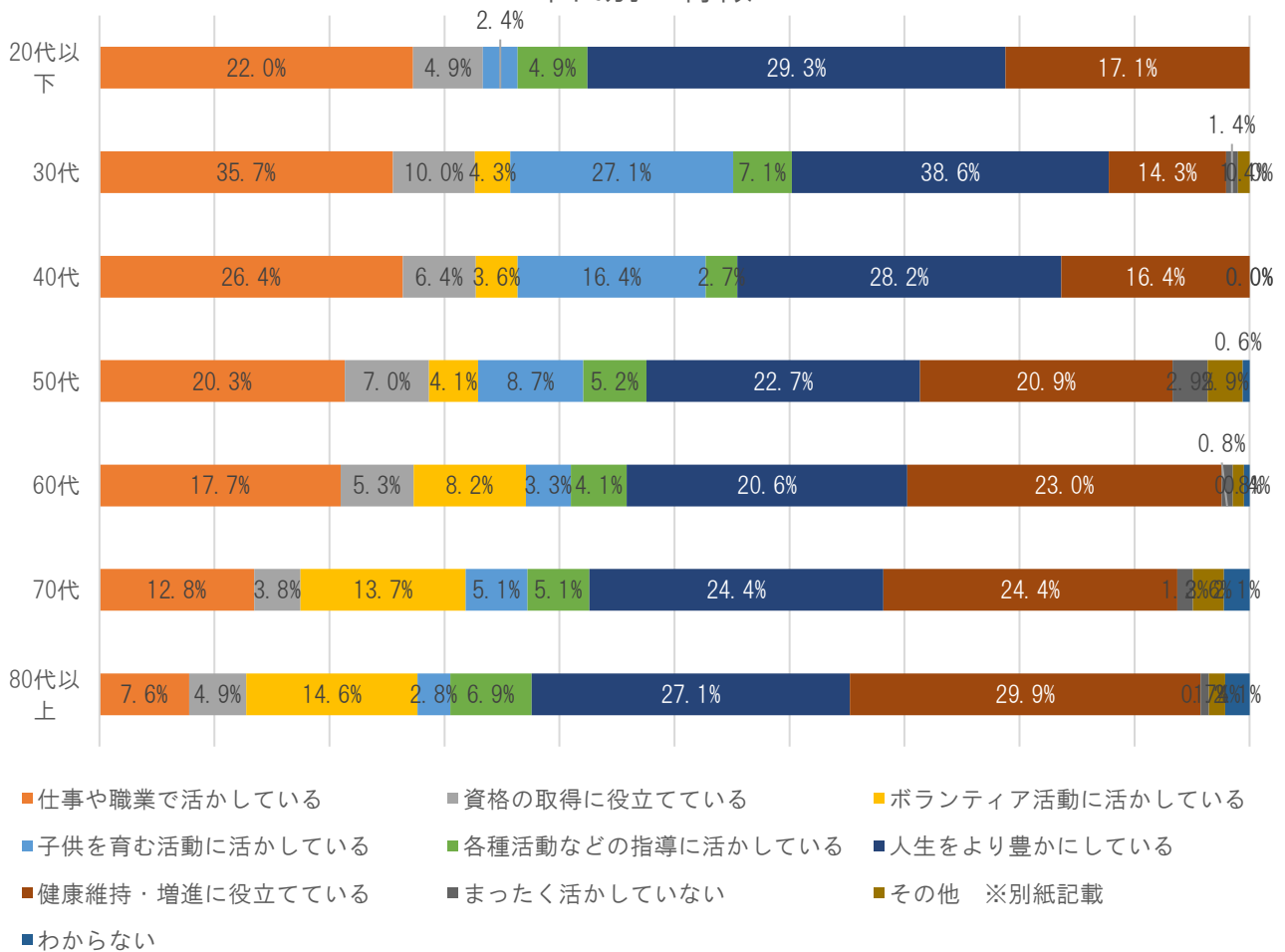


人生をより豊かにしている割合が25.2%最も多く、次に健康維持・増進に役立てているが22.5%と続く。

性別ごとの特徴



年代別の特徴



【性別・年代別×身に付けた知識等どのように活かしていますか？】

	サンプル数	仕事や職業で活かしている	資格の取得に役立てている	ボランティア活動に活かしている	子供を育む活動に活かしている	各種活動などの指導に活かしている	人生をより豊かにしている	健康維持・増進に役立てている	まったく活かしていない	その他 ※別紙記載	わからない	自然体験や生活体験などの体験活動	その他 ※別紙記載
全体	1020	184	58	87	77	51	257	229	12	16	10	84	6
【性別】													
男性	556	89	30	44	30	28	121	114	5	9	6	42	4
女性	450	92	27	43	47	23	132	112	7	7	4	41	2
その他	4	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
【年代別】													
20代以下	41	9	2	0	1	2	12	7	0	0	0	4	0
30代	70	25	7	3	19	5	27	10	1	1	0	10	0
40代	110	29	7	4	18	3	31	18	0	0	0	13	0
50代	172	35	12	7	15	9	39	36	5	5	1	14	1
60代	243	43	13	20	8	10	50	56	2	2	1	13	0
70代	234	30	9	32	12	12	57	57	3	6	5	21	4
80代以上	144	11	7	21	4	10	39	43	1	2	3	9	1

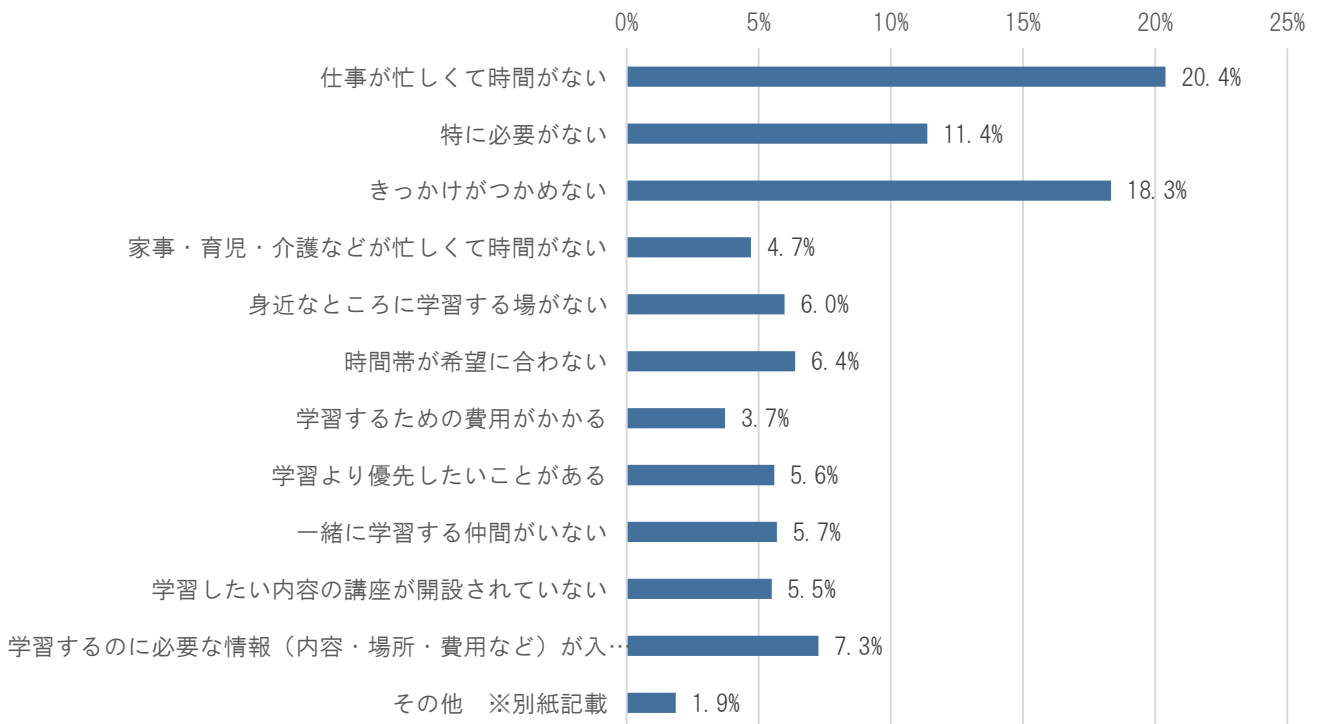
男女ともに「人生をより豊かにしている」が1位となっている。
 年代別ではどの年代も「人生をより豊かにしている」が多くみられ、60代までの方は「仕事や職業で活かしている」の割合も多くなっている。
 また60代以上は「健康維持・増進に役立てている」の割合が多くなっている。

【問14で2. 行っていないと回答された方のみにお聞きします。】

問16：あなたは、この1年間で「生涯学習」を行わなかった理由は何ですか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

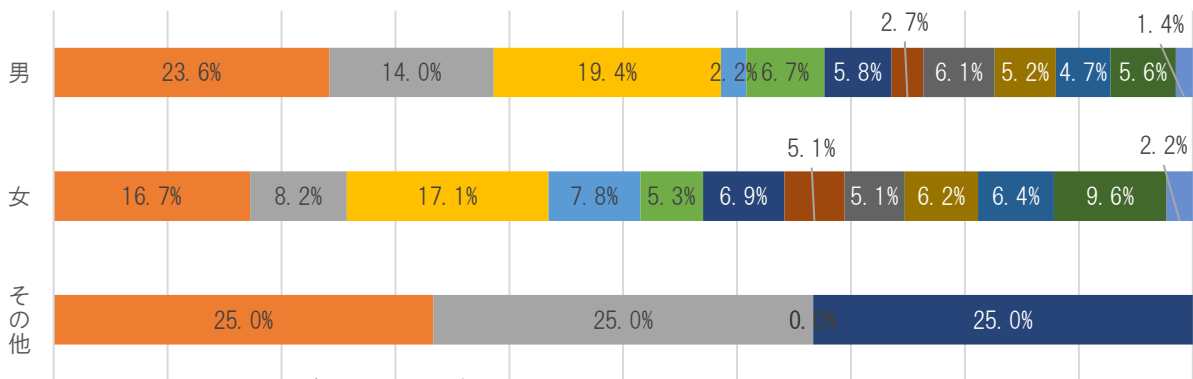
- 1 仕事が忙しくて時間がない
- 2 特に必要がない
- 3 きっかけがつかめない
- 4 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
- 5 身近なところに学習する場がない
- 6 時間帯が希望に合わない
- 7 学習するための費用がかかる
- 8 学習より優先したいことがある
- 9 一緒に学習する仲間がいない
- 10 学習したい内容の講座が開設されていない
- 11 学習するのに必要な情報（内容・場所・費用など）が入手できない
- 12 その他（具体的に）

生涯学習を行わなかった理由は？



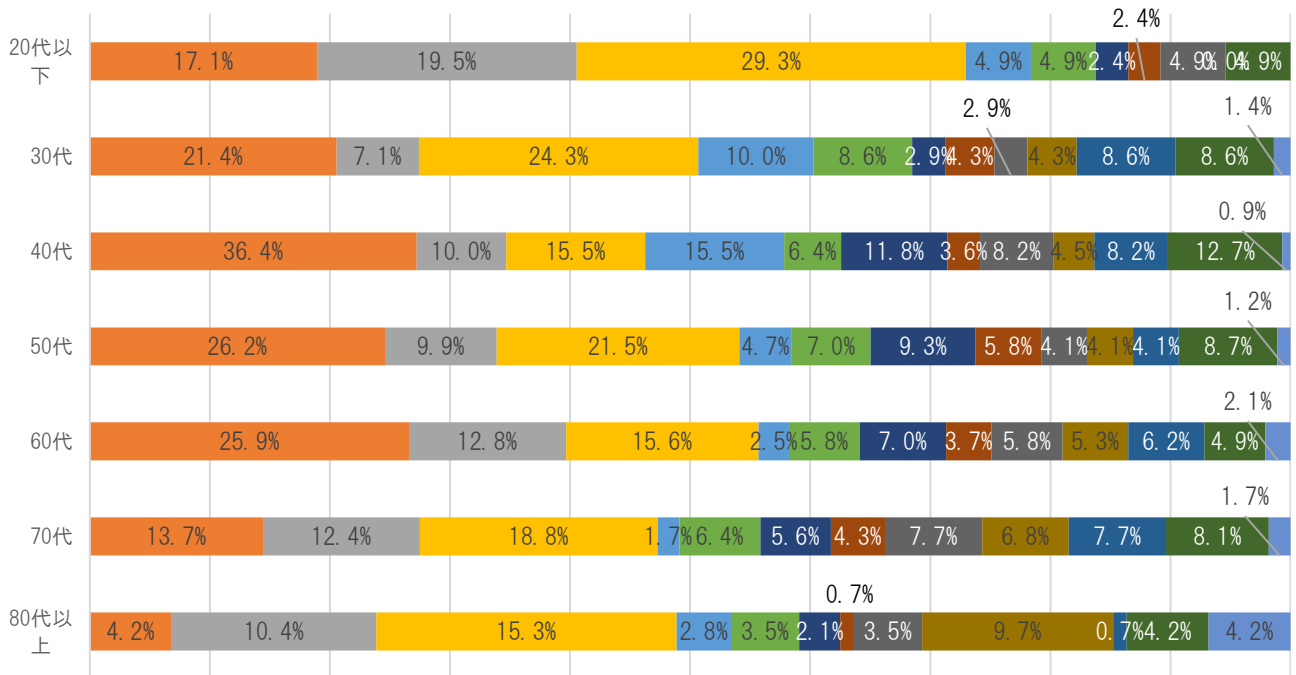
「仕事が忙しく時間がない」が20.4%と最も多く、次に「きっかけがつかめない」が18.3%と続く。

性別ごとの特徴



- 仕事が忙しくて時間がない
- 特に必要がない
- きっかけがつかめない
- 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
- 身近なところに学習する場がない
- 時間帯が希望に合わない
- 学習するための費用がかかる
- 学習より優先したいことがある
- 一緒に学習する仲間がいない
- 学習したい内容の講座が開設されていない
- 学習するのに必要な情報（内容・場所・費用など）が入手できない
- その他 ※別紙記載

年代別の特徴



- 仕事が忙しくて時間がない
- 特に必要がない
- きっかけがつかめない
- 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
- 身近なところに学習する場がない
- 時間帯が希望に合わない
- 学習するための費用がかかる
- 学習より優先したいことがある
- 一緒に学習する仲間がいない
- 学習したい内容の講座が開設されていない
- 学習するのに必要な情報（内容・場所・費用など）が入手できない
- その他 ※別紙記載

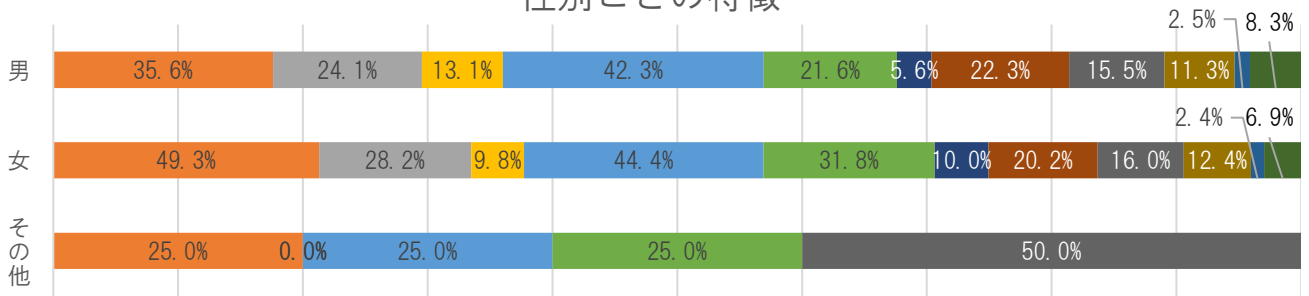
【性別・年代別×生涯学習を行わなかった理由】

	サンプル数	仕事が忙しくて時間がない	特に必要がない	きっかけがつかめない	家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	身近なところに学習する場がない	時間帯が希望に合わない	学習するための費用がかかる	学習より優先したいことがある	一緒に学習する仲間がいない	学習したい内容の講座が開設されていない
全体	1020	208	116	187	48	61	65	38	57	58	56
【性別】											
男性	556	131	78	108	12	37	32	15	34	29	26
女性	450	75	37	77	35	24	31	23	23	28	29
その他	4	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
【年代別】											
10代以下	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
20代以下	41	7	8	12	2	2	1	1	2	0	0
30代	70	15	5	17	7	6	2	3	2	3	6
40代	110	40	11	17	17	7	13	4	9	5	9
50代	172	45	17	37	8	12	16	10	7	7	7
60代	243	63	31	38	6	14	17	9	14	13	15
70代	234	32	29	44	4	15	13	10	18	16	18
80代以上	144	6	15	22	4	5	3	1	5	14	1

男性は「仕事が忙しくて時間がない」が1位となっており、女性は「きっかけがつかめない」が1位となっている。

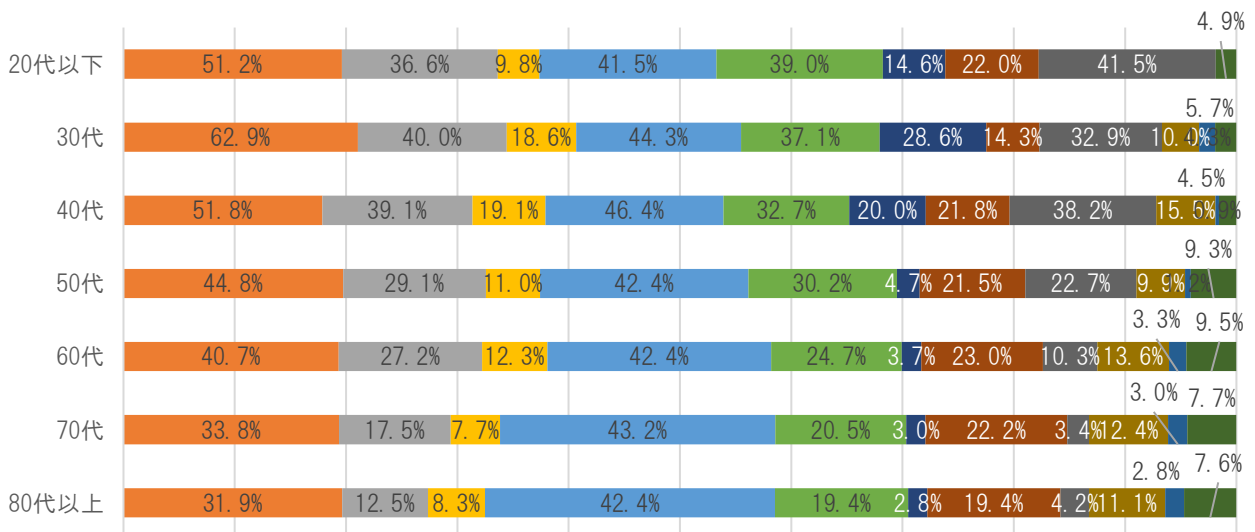
年代別では50代～60代は「仕事が忙しくて時間がない」が一番多く、その他の世代は「きっかけがつかめない」が多くなっている。

性別ごとの特徴



- 趣味的なもの（音楽、華道、書道など）
- 教養的なもの（文化、語学など）
- 社会問題に関するもの（国際問題、労働問題など）
- 健康・スポーツに関するもの（健康法、ウォーキングなど）
- 家庭生活に関するもの（料理、洋裁、日曜大工など）
- 子育てや青少年育成に関するもの
- パソコンやインターネットに関するもの
- 職業上必要な知識・技能に関するもの（資格の習得など）
- ボランティア活動等に必要な知識・技能に関するもの
- その他 ※別紙記載
- わからない

年代別の特徴



- 趣味的なもの（音楽、華道、書道など）
- 教養的なもの（文化、語学など）
- 社会問題に関するもの（国際問題、労働問題など）
- 健康・スポーツに関するもの（健康法、ウォーキングなど）
- 家庭生活に関するもの（料理、洋裁、日曜大工など）
- 子育てや青少年育成に関するもの
- パソコンやインターネットに関するもの
- 職業上必要な知識・技能に関するもの（資格の習得など）
- ボランティア活動等に必要な知識・技能に関するもの
- その他 ※別紙記載
- わからない

【性別・年代別×今後行いたい生涯学習は？】

	サンプル数	趣味的なもの（音楽、華道、書道など）	教養的なもの（文化、語学など）	社会問題に関するもの（国際問題、労働問題など）	健康・スポーツに関するもの（健康法、ウォーキングなど）	家庭生活に関するもの（料理、洋裁、日曜大工など）	子育てや青少年育成に関するもの	パソコンやインターネットに関するもの	職業上必要な知識・技能に関するもの（資格の習得など）	ボランティア活動等に必要な知識・技能に関するもの	その他 ※別紙記載	学習するのに必要な情報（内容・場所・費用など）が入手できない	その他 ※別紙記載
全体	1020	425	262	118	440	267	76	217	161	121	25	74	19
【性別】													
男性	556	198	134	73	235	120	31	124	86	63	14	31	8
女性	450	222	127	44	200	143	45	91	72	56	11	43	10
その他	4	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0
【年代別】													
20代以下	41	21	15	4	17	16	6	9	17	0	0	2	0
30代	70	44	28	13	31	26	20	10	23	7	3	6	1
40代	110	57	43	21	51	36	22	24	42	17	1	14	1
50代	172	77	50	19	73	52	8	37	39	17	2	15	2
60代	243	99	66	30	103	60	9	56	25	33	8	12	5
70代	234	79	41	18	101	48	7	52	8	29	7	19	4
80代以上	144	46	18	12	61	28	4	28	6	16	4	6	6

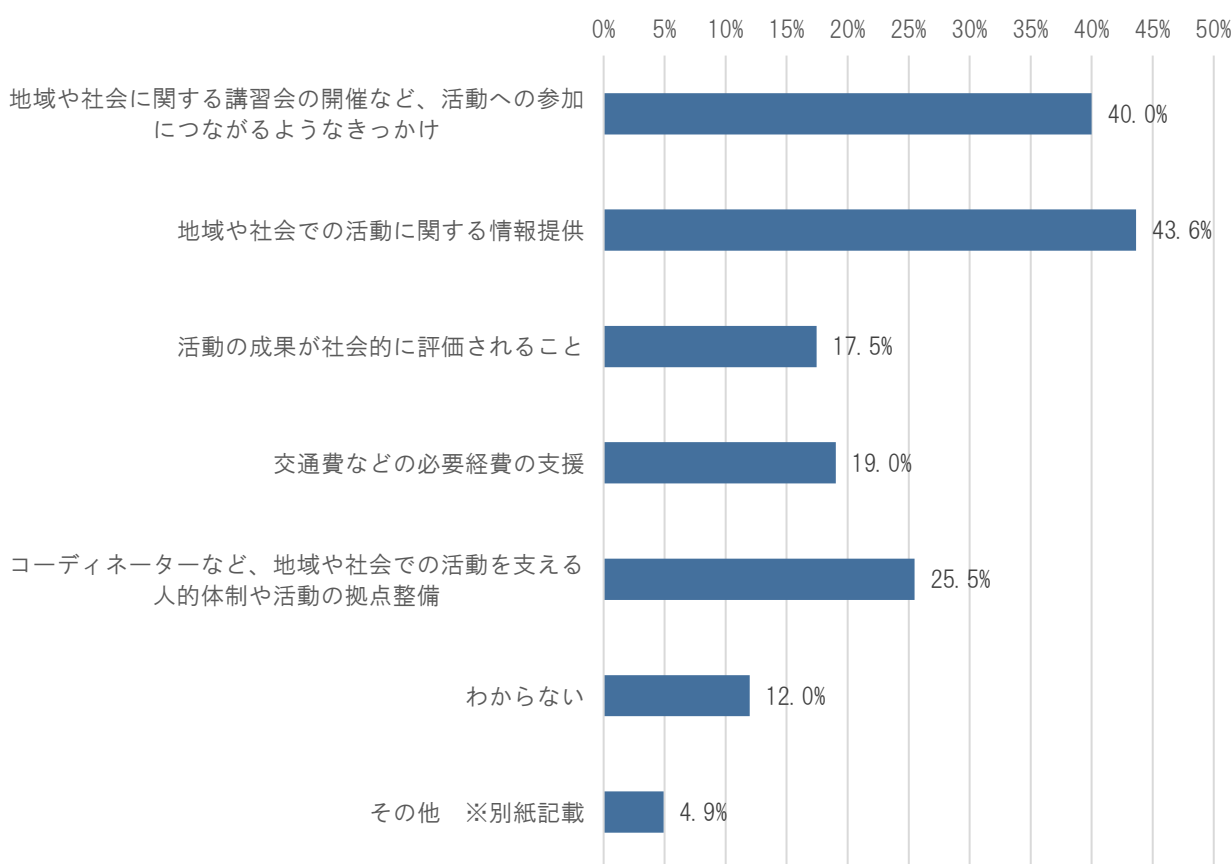
男性は「健康・スポーツに関するもの」が1位となっており、女性は「趣味的なもの」が1位となっている。

年代別では、50代以下では「趣味的なもの」の割合が多く、60代以上では「健康・スポーツに関するもの」の割合が多くなっている。

問 18：多くの人が地域活動や社会活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

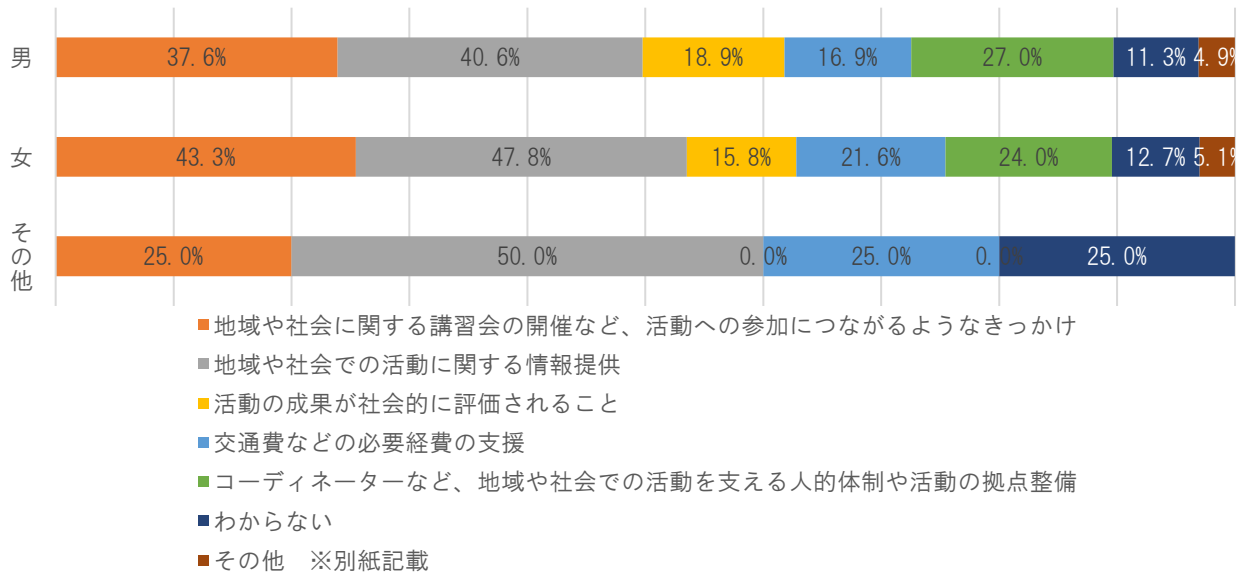
- 1 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ
- 2 地域や社会での活動に関する情報提供
- 3 活動の成果が社会的に評価されること
- 4 交通費などの必要経費の支援
- 5 コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点整備
- 6 わからない
- 7 その他（具体的に）

地域活動や社会活動に参加するために何が必要ですか？

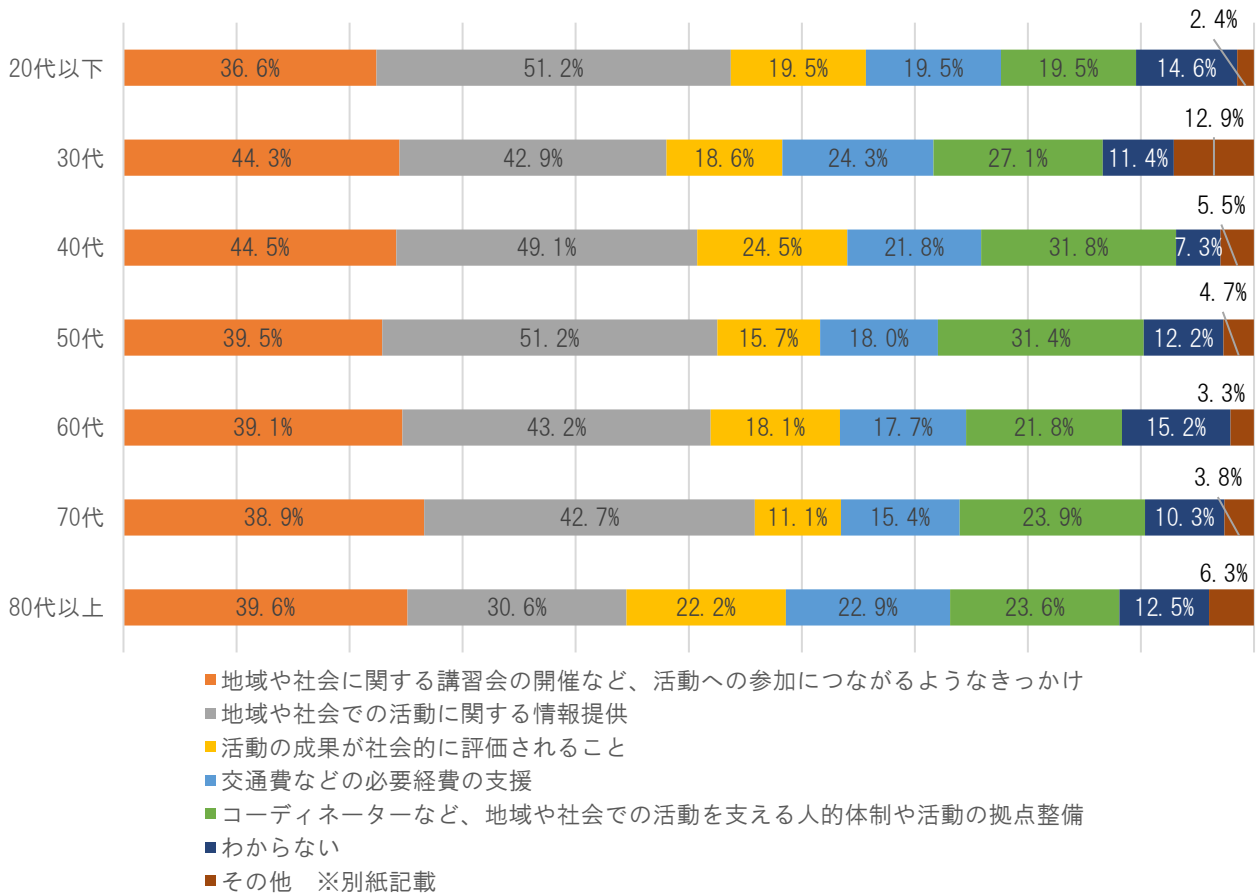


「地域や社会での活動に関する情報提供」が43.6%と最も多く、次に「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ」が40.0%と続く。

性別ごとの特徴



年代別の特徴



【性別・年代別×地域活動や社会活動に参加するために何が必要ですか？】

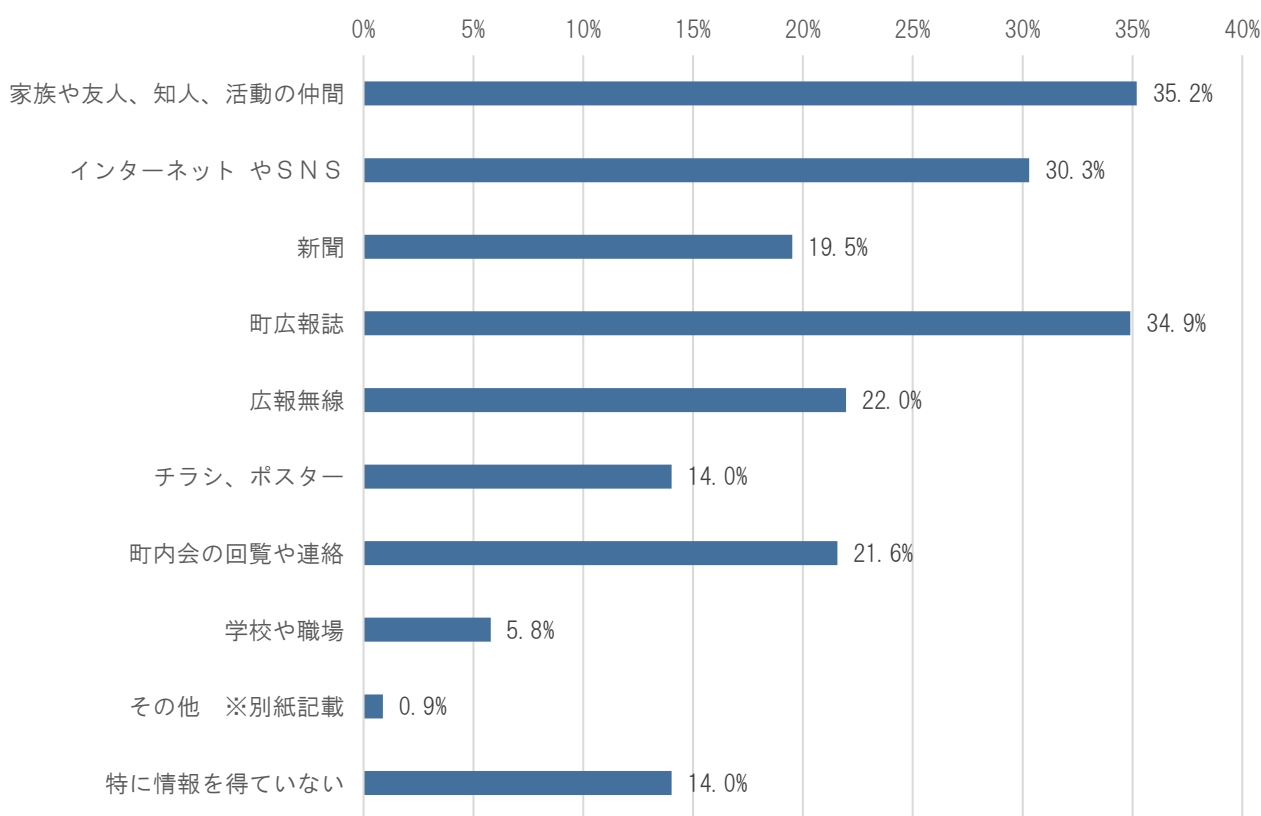
	サンプル数	きつかけ 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるような	地域や社会での活動に関する情報提供	活動の成果が社会的に評価されること	交通費などの必要経費の支援	整備 の活動を支える人的体制や活動の拠点	わからない	その他 ※別紙記載
全体	1020	408	445	178	194	260	122	50
【性別】								
男性	556	209	226	105	94	150	63	27
女性	450	195	215	71	97	108	57	23
その他	4	1	2	0	1	0	1	0
【年代別】								
20代以下	41	15	21	8	8	8	6	1
30代	70	31	30	13	17	19	8	9
40代	110	49	54	27	24	35	8	6
50代	172	68	88	27	31	54	21	8
60代	243	95	105	44	43	53	37	8
70代	234	91	100	26	36	56	24	9
80代以上	144	57	44	32	33	34	18	9

男性も女性も「地域や社会での活動に関する情報提供」が一番多く、年代別でも同じ傾向にあり、次に「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきつかけ」の割合が多くなっている。

問19：あなたは、生涯学習に関する情報をどのような手段で得ていますか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

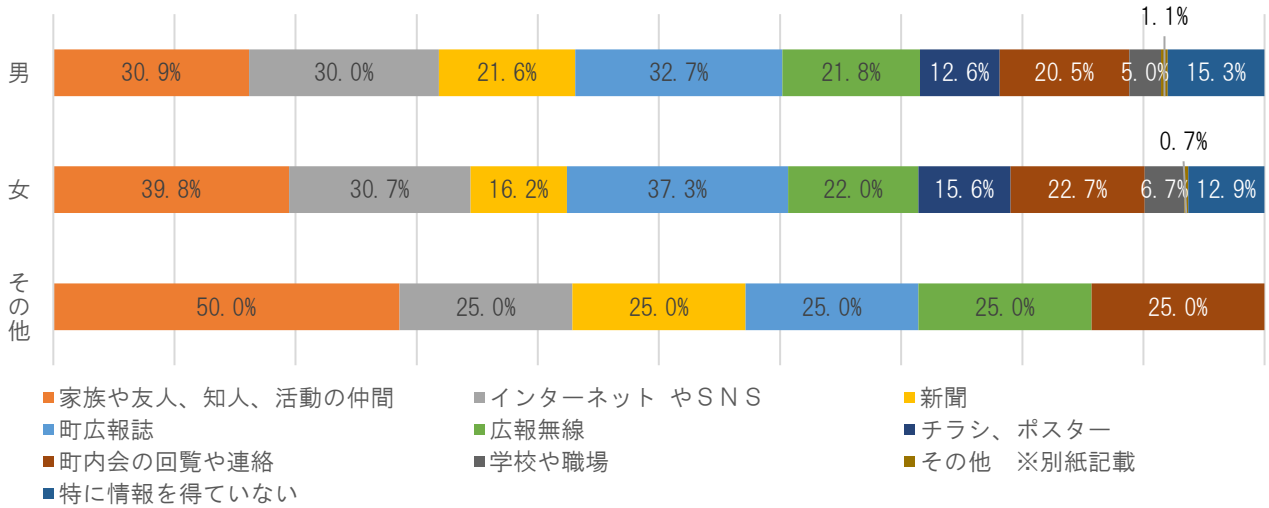
- 1 家族や友人、知人、活動の仲間
- 2 インターネット や SNS
- 3 新聞
- 4 町広報誌
- 5 広報無線
- 6 チラシ、ポスター
- 7 町内会の回覧や連絡
- 8 学校や職場
- 9 その他（具体的に）
- 10 特に情報を得ていない

どのような手段で情報を得ていますか？

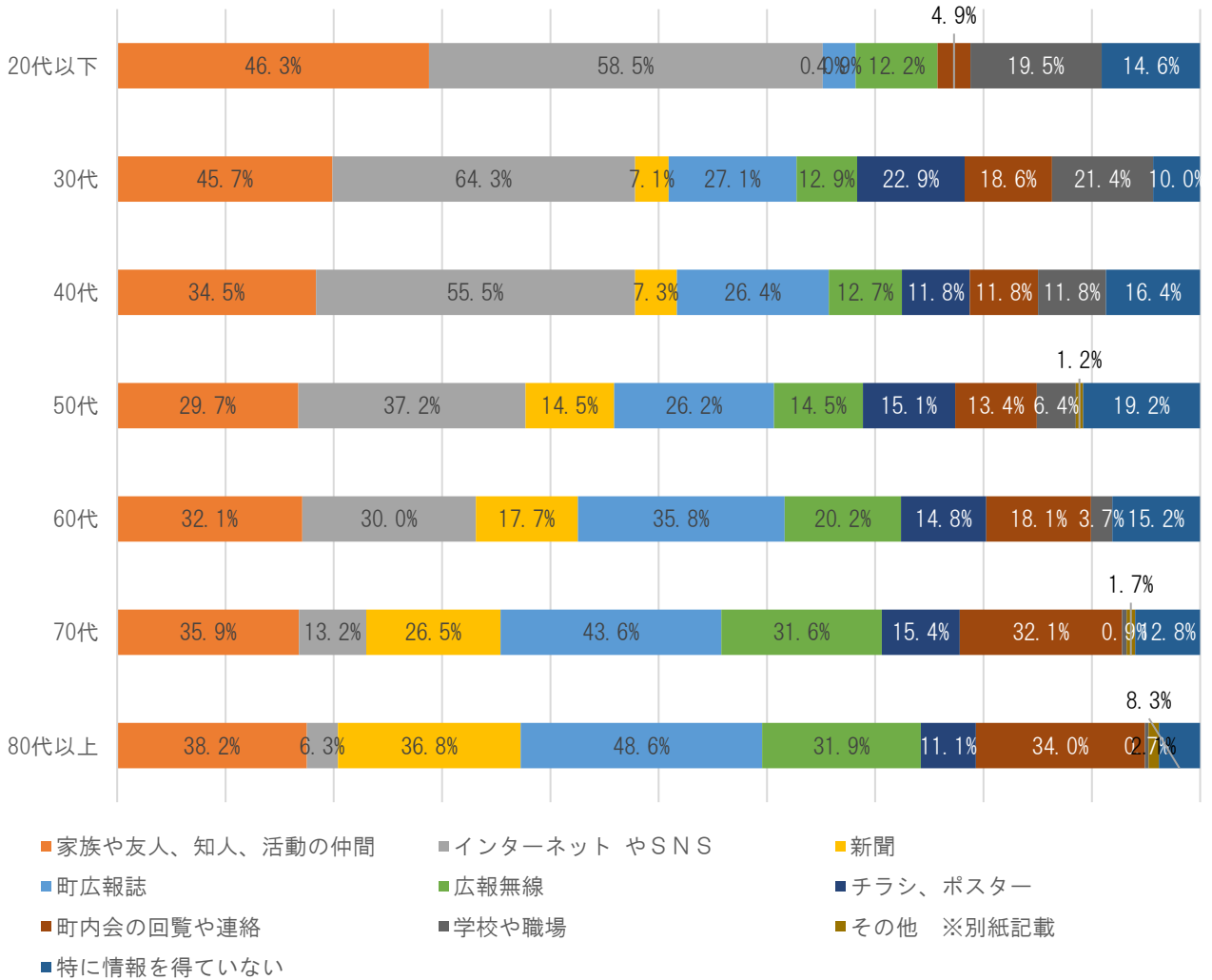


「家族や友人、知人、活動の仲間」が35.2%と最も多く、「町広報誌」が34.9%と続く。

性別ごとの特徴



年代別の特徴



【性別・年代別×どのような手段で情報を得ていますか？】

	サンプル数	家族や友人、知人、活動の仲間	インターネットやSNS	新聞	町広報誌	広報無線	チラシ、ポスター	町内会の回覧や連絡	学校や職場	その他 ※別紙記載	特に情報を得ていない
全体	1020	359	309	199	356	224	143	220	59	9	143
【性別】											
男性	556	172	167	120	182	121	70	114	28	6	85
女性	450	179	138	73	168	99	70	102	30	3	58
その他	4	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0
【年代別】											
20代以下	41	19	24	0	2	5	0	2	8	0	6
30代	70	32	45	5	19	9	16	13	15	0	7
40代	110	38	61	8	29	14	13	13	13	0	18
50代	172	51	64	25	45	25	26	23	11	2	33
60代	243	78	73	43	87	49	36	44	9	0	37
70代	234	84	31	62	102	74	36	75	2	4	30
80代以上	144	55	9	53	70	46	16	49	1	3	12

男性は「町広報誌」が1位となっており、女性は「家族や友人、知人、活動の仲間」が1位となっている。

50代以下の方は「インターネットやSNS」の割合が多く、60代以上の方は「町広報誌」の割合が多くなっている。

4. その他回答

問 1 3 : あなたは、生涯学習という言葉からどのようなイメージを持ちますか？（その他回答）

1	読書や映画なども含めた全ての学び
2	個々の生き方、他者のつながりを共有できる場であり環境作りでありたい
3	年齢の違う人達と楽しんで勉強する場
4	まちづくり
5	何処 我が町にはスポーツ施設が少ない。ゴルフ場も無い。トップアスリートの誕生が無い
6	地域の人たちと、親しくしその広がりから生じる活動
7	みんな高等教育をうけているんだろだったら俺みたいになんらか学問やれよ自発的に。高等教育が泣くぜ！！
8	健康な体で、地域に根ざした活動だと思います。
9	重要でない
10	具体性がなく、分かりづらい
11	高齢者向けなイメージがあります
12	上記内容は全て大切な事柄ばかりです。唯、実行力に関しては年齢と共に行動力は半減しつつ有ります。
13	友人と楽しく交流すること
14	自分達がやっている事が楽しいと思う事
15	定年した人が学んでいるイメージ
16	個人に対する干渉
17	意味は無い

問 1 5 - 1 : あなたが今まで行った生涯学習は？（その他回答）

1	植物の世話
2	若い頃に何度も参加しました
3	こじんのいけん
4	読書
5	スマホ等の学びの場 栗山町すごい 町民が大切にされてる
6	英会話、資格取得

問 1 5 - 2 : あなたは、その生涯学習を通じて身に付けた知識や技術や経験をどのように活かしていますか？（その他回答）

1	地元住民との交流
2	日々の生活。
3	一部は活かしていません。
4	一生を通じて続けられる（であろう）趣味を身につけた
5	趣味を生かしシニアクラブでの活動を楽しんでいる
6	人と知り合える
7	60 才前は子供の指導にあたりましたが、体力的に無理であり、若い方といっしょなら方法もある。
8	活かすつもりは無い

9	たんなる自分の満足です
10	旅行をする。旅行記を発信する。
11	D I Y
12	友人関係の拡大
13	一人の考えをもったてん
14	現在 81 に成りましたが現役で仕事出来ていると云う事が上記の事を現在も維持出来ている明かしかと自負致しています。
15	老人クラブ活動等に活かしている
16	日々の生活で
17	自分自身に対する。満足感を得るため。
18	社会参加→人的交流の拡大

問 1 6 : あなたは、この 1 年間で「生涯学習」を行わなかった理由は何ですか？（その他回答）

1	興味あるテーマがない
2	生活する為に働いていて、日々心の余裕と時間が足りない。
3	長沼に引っ越しして半年で、まだ長沼の事がわからないから
4	体調が悪い
5	興味がない
6	病気入院、1年間
7	あまり活動的でない。人の輪の中に入れない
8	P R が足りない
9	自分でそれなりにやっている
10	体調不良
11	体調不良のため
12	日舞・珠算・簿記・レタリング・ペン字・書道・茶道・社交ダンス・着付け・すべて資格は持っています。この長沼で、新参者が活かせる事はない。自分一人で家で楽しむのみ。
13	学習することは意義のあることと分かっているにもかかわらず積極的に出来ない
14	腰やひざが痛く自由に動けない
15	生活多忙
16	町の商店の空室をもっと充実を 助けるべき
17	魅力ある生涯学習が見つけれない
18	愚民だらけの日本でそんな物不要

問 1 7 : あなたは、今後どのような生涯学習を行いたいと思いますか？（その他回答）

1	そのような余裕はない 生活、仕事で精一杯
2	生涯学習自体が必要無い。

3	自然科学・医学
4	皆んなで楽しめるゲーム等・認知予防になるもの等お友達作りにつながる事（気軽に集まれる場所作り）
5	今の自分の環境や状況に応じて必要だと思うことをしたい
6	年齢的に出来る物を続けるだけ
7	個人的なものより、地域の活動を行いたいです。・東庭園の再開・夏休み子供学習の手伝い 寺子屋的なもの・学習したことを役立てる場があるというのが生涯学習ではないですか？ そういったものを町はたくさん企画して町民同志が関わり合える場所を作るが行政の役割と考えます。人と人が関わられなければ、理解が深まらない 人間は理解が深まることで満たされると感じるからです。
8	思わない
9	まだ具体的には浮かばないが、近い将来行っていきたい
10	スマホが使いこなせない
11	護身術
12	特に必要だと思わない
13	終末医療・介護の知識
14	個人をたいせつに
15	体力・能力などに合わせて適当にやっている
16	地域住民の和への強化策・災害対応強化・高齢者の共助等
17	読書
18	私の前で倒れないで！長沼に来て8年になります。その間、私の家の前であったり、行く先々で人が倒れていたり困っていたりすること10件 ・温泉帰り道路に倒れている人 ・夜中に家の車庫にぶつかって倒れている人 ・こと二さん前で道路で倒れている人 ◎おばあさんが家の前で倒れそうになって（この方2回）車を出し送る ・向いの方が家で転倒病院に連れていく ・子供小学生低学年と思われる子が家の前で倒れていた ◎顔見知りの方が転倒してお盆に悪化して寝込んでいたので病院に連れていく ・子供が家の前で転び水洗いして手当する 等々 ◎の2人の除雪は雪が降るたびに行っている。1人かってボランティアをしています（ゴミすてが一番困っています）。
19	行わない
20	防災活動に必要な知識
21	地域の人と交流できる機会の拡大（社会的交流）
22	くだらない事より政治に関心持たせる事を教えるべき

問18：多くの人が地域活動や社会活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか？（その他回答）

1	役場の職員がもっと地域活動に積極的に参加して欲しい 行政区の活動に参加していない
2	行政のサポート

3	生活、仕事と忙しいので無理です 共働きは当たり前で、本当に余裕などありません。
4	高齢者ばかりで若者が集まりづらいので、年代関係なく参加できる取り組みを企画する必要がある。
5	他の人の気持は分からない
6	喜びや達成感の共有
7	その行動自体が必要無い。
8	ある程度強制されないと参加しないと思います。参加したいと思えるような物にするしかないと思います。まずはきっかけをつくるのに、参加したらプレゼントが当たるのが一番効率が良いと思います。私がリフレに行き出したのも、長沼のポイントが3000?もらえることがきっかけでした。
9	1番難しい事ですが、主催者界限だけが盛り上がるのではなく、少しでも興味、関心を持ってくれた人を招待し、有効的な場を設ける事が出来れば活動をしようとする人が増えると思う。
10	毎日の生活に余裕がないので、国や行政などの政治的な改善。
11	活動の拠点だった長沼町民会館が使えなくなった。生涯学習にとって、大変な損失。 どうしてくれる!代わりになる施設を建ててほしい。
12	移住者と地元出身者の交流
13	子どもの習い事になり、かつ町の人と一緒に受けられる時間に、英会話教室や体操教室などをやれると、多世代交流にもつながる。
14	今現状の最大の問題は、街はみんなの声を聞かず、数人の同じ人の声ばかりを聞いている。です。その方々の一方的な声が重要とされすぎてどんどん参加者も減ります。
15	勧誘をコミュニティに押し付けず、活動内容そのものの魅力に委ねること。
16	拠点もいいですが、町内に向けての発信をもっと工夫してほしいです。せっかく良い講座もたくさんあるのですから
17	本職・家事などを除く余暇時間の確保
18	参加する事による地元の人との交流
19	社会教育施設設備の充実
20	規格外やさいプレゼント
21	特に男性は、若い時の役職などが残り、活動の場でも上下関係を出す事が多い気がします。そのような事をなくして欲しい
22	学校部活動の全面地域移行
23	町民会館を新築して下さい。
24	参加したいやつだけしろ俺はイヤだ!
25	発表の場
26	一人一人がどのようなニーズをもっているかアンケート等で知ること。
27	交通が不便
28	交通の便利が悪いと人が集まらない
29	役場職員のやる気

30	楽しそうなことをする
31	皆が何を望んでいるのか、課題と思っているか聞きだすこと
32	誰かと一緒に参加するなど、人と人とのつながりが必要だと思います。
33	町が具体的に動くこと
34	高齢者是对応できない
35	健康
36	無関心、無気力なくす
37	大きな負担にならないこと
38	する場所がない（町民会館がなくなった。りふれは遠い！）
39	ぜんぜん宣伝されていない
40	同じ趣味を持つ人のつながりを持つきっかけづくり
41	ボランティア活動の公開（日常的に）
42	特に⑤、活動するには居場所になることが大事で、経費の点での助成も考えていく必要があり、公民館のような施設を考えてほしいです
43	長沼町の理解
44	栗山町の密な住人への配慮に興味あり スマホ等学ぶ（無料）長沼から参加してると会う。必要とすることにはいち早く行動する ニュースを流す、無線は役立つ
45	市街地に住んでいると情報が伝わるが農村部は関心をもちない人が多い。
46	イオン、とか大型商業施設をつくり沢山の人が働く環境を作ってから考えます。
47	多くの人が地域活動や社会活動に参加する必要はない
48	活動できる場（会館）などの充実
49	声掛けをしても性格的に参加できない方がたくさんいるのをどうすべき？
50	血税の無駄

問19：あなたは、生涯学習に関する情報をどのような手段で得ていますか？（その他回答）

1	NHKの教養番組を多く見るようにしている。
2	図書館
3	スマホ
4	本からの情報
5	自分の考え
6	本
7	行政区活動、老人クラブの活動、趣味の会
8	人々を上手に用いて助け合っている
9	どこで入手できるのかわからない為

5. 個人の意見（自由記述）

問20：生涯学習についてご意見がありましたらご記入願います。

（※自由記述）

1	このLINEで、町内での子供大人が習い事が出来る場所の情報がはいれば良いです
2	生涯学習について 南空知 四か町村で できるものは 共催とし できないものは単独で行う。競争でなくて 共存でやってほしい
3	生涯学習は個人だけでなく、まちづくりにおいてとても重要な取り組みだと思っています。新しい取り組みに期待しています。
4	長沼ではコンサートなどの企画が多くとてもありがたいです。生涯学習×多世代交流で、習い事を充実させれば、義務教育学校とともに、ながの教育環境の魅力が高まると思います。
5	場所を数時間でも提供していただけるのなら「かな書道」の活動をしたいです。町民会館などが使えない今、どのようにしたらいいのか思案中です。
6	仕事をしているとなかなか自分の時間を生み出すことは難しい。働き方改革が進み、自己研鑽に使える時間がなければ生涯学習は進まない。消極的だが、これが現実。
7	生涯学習は、自らが模索して自分の満足度に左右されるもので、行政はそのきっかけを作るだけで良いと思う。社会教育は人生全てに当てはまる事なので、幅広い年代が楽しめる情報提供をお願いします。
8	何かに属することはとても意味のあることだと思います サークルなど充実していれば嬉しい
9	広い意味での生涯学習の機会が多いことは、まちの活気や持続力につながることで、遠回りに見えても大切なまちづくりの一環だと思います。
10	指導者のレベルは可能な限り高いレベルの方をお願いしたい。
11	必要が無いもの
12	町民のニーズが多様化して、町の財政がひっ迫する中、町が主催するというより、町内から参加可能な企画を一元化し、交通費（公共交通機関のみ）や参加費の一部を支給するなど、財政的な負担が少なくなる方法を模索するのがよいと思う。 豊生大学は、どれくらいのニーズがあるのか、知りたい。
13	深い内容テーマを扱うべき
14	生涯学習について考えるような余裕など無いのが、現役で働き生活している世代の本音だと思います。 値上がりの続き生活が苦しくなるばかりで、余裕などありません。長沼町もふるさと納税などもっと長沼町のピーアールに力を入れたり、他の市町村に負けない活動や企業招致が必要なのでは？
15	活動場所の確保、行政のサポートの充実。 助成金を出せば良いというものではない。
16	活動団体に手厚いサポートをお金を配るだけで無く助力や活動発表の場を多く作るべきだ

17	私は生涯学習とは、教養を深め、自分の生活を文化的に豊かにするために行うものだと思っており、社会活動や地域活動を目標とはしていません。
18	核家族が増える中、家庭料理を教えてもらう機会が無いので、高齢者や農家の母さんの料理教室等あれば是非参加したい。
19	私がしたいことと、町民の他の方々がしたいことに違いがあるように、したいことには差があると思います。町民の多くがしたい学習は何か、そして、それを町民がもっと知れると良いな、と思いました。
20	今まで歩んできた人生それぞれに価値や興味の重さ広がりがあります。組織的な集団にならないうえ、気軽に参加できるコミュニティ作りをしてほしい。情報提供も片寄らずに！
21	以前参加したとき、渡された書を読むだけでかみくだいての説明だった所は何もなく、これなら自分で読むだけの方が良かったと思った。多くの方が外へ出てガッカリしていた。
22	新設小中学校は大切なものです。それと比例して町民各位の教養文化を高め、習得することは併せて大切なものです。まさに、子どもと大人は両論の如くであることが、最重要とあると考えます。
23	小さな活動をしている健全なサークルなどに声かけをし、少しずつ発展させていく自然体の学習にしたらいと思います。(例、パークゴルフの講習、囲碁、将棋、マージャン等) 手軽に参加でき交流する場をまず見つけることから始めては、いかがでしょうか。禁止事項を含め(禁煙、金銭をかけたらない) など違反したときの罰則を明確に定め健全で明るい環境を整えることです。
24	介護・見守りで時間がありません。
25	小中高 かかし作りして町内におく→大人も参加→私が作りたいたいけどわからない
26	町内での選択メニューが少ない。(限られた範囲しか無い)
27	老人クラブの入会して6年になります。トイレそうじ、観楓会、新年会等楽しいイベントもあります。役員も何回か経験しましたが、持病があり、体力的に限界に思っています。脱会考えています。人とのコミュニケーションもなくなります。1人で楽しみ見つけてポジティブに生きていこうと考えています。
28	老人むけのスマホ教室を開いたら良いと思います。
29	年代、多種多様な考え方、自主的啓発が個々で持ち合わせるが大変むずかしい時代であるが、ある程度しぼったカリキュラムの提案を望む。
30	地域のイベントを増やす事。生涯学習の情報を多く発信する事。
31	文化的な活動を支える施設があるといい。特に音楽ホールがあれば、ミニシアターとしても使える。話題の映画を上映だってできる。スポーツイベントのパブリックビューイング会場としても使える。小規模でもいいので、せっかくクラシックのイベントも多いので、ちゃんとしたホールで子どもたちに聴かせてあげたい。その意味でも、町民会館のフロアで開催する音楽イベントで満足しているのはナンセンス。こんな古くて使い物にならない施設はとっとと壊して音楽ホールを作ってください。
32	過去にも同じ様な内容で何度か調査が有りましたが改善されていない！アンケートを集めるだけでは意味がない。是非改善すべき事は早急に。
33	その他として ・小中一貫の早期実現を！子供まで熱くてかわいそう ・もっと内容の濃いアンケート

	ートを作ってほしい（一般意見の書く所が少ない） ・大きい封筒は無駄です（いらぬ） ・運河沿のサイクリングロードの整備して欲しい（関係部局と協議して下さい）
34	地域ごとにやるのではなく中心に集める。コストをおさえれば色々できるのではないですか（指導者に支払うことも出来る）
35	りふれでヨガレッスンやその他のクラスに参加するには入館料がかかってしまうので、クラス参加時は無料にして頂けるともっと利用者が増えると思います。 土・日に子供と一緒に参加できるような学習の集まりがあると良いと思います。
36	町民会館を利用して文化活動をしてきたが、活動の場が無くなり不便を大変感じている。リフレを紹介されたが、使用する部屋が大きい部屋しか無く、利用料金も高額。使用する曜日は他の団体とかぶり、別な不便な場所を今は利用している。うちの会は町外からのメンバーも数名いて、文化的施設が無くなるのはとてもはずかしい。小中一貫校は反対ではないが、そこに一般開放で一般の者が利用するのは参加しづらい。由仁、栗山みたいに立派な文化施設が建つと思っていました。2.30年前はそういく計画があったはず。町民に説明の場と期間がたりなさすぎる。ブラスバンドコンサート等を中学校でやっても行きづらい。2.30年前は 18:00 くらいから町民会館やスポーツセンターでクラシックやいろいろなコンサートが催されて活気があった。今は日曜の 14:00～音楽系の催しが多く、曜日関係なく仕事に行っている私は聴きに行けない。18:00～の時間帯だと今は参加する人が少ないためなのか？
37	具体的に、して欲しい事を、つのって欲しいです。案を町で出してつのって下さい。宜しく願いいたします。はりのある人生の為の手助けをして頂きたいです。
38	生涯学習とは少し異なるが、中高生への奨学金制度を強化して欲しい。いろいろな形が考えられると思う。（財政上の問題もあるが…）
39	広報などでもっとアピールしてほしい。
40	仕事をしたいと思いますが、3 回仕事をたのみに行きましたがいい返事はありませんでした。82才までヘルパーとして仕事をして来ました。仕事を下さい（トイレ掃除）でもよいです。
41	インターネットで情報を得られる。行政で取り組まなくてもよい。防災対策に税金を使うべきと考えます。
42	現町長に期待してません。又町職員も質が低下している気がします。
43	生涯学習は大切です。お金をかけずに、やりたいこと（選択肢が多い）が見つかること。機会（ほどよくやれる頻度）が充実することを望みます。
44	生涯学習という概念が、質問が簡単すぎると思います。 多くの人達に周知する為にはそれでいいと思いますが、そこを担う人達が、その理解度ではアンケートをとっても何も変わらないと思います。 生涯学習とは何だと思えますか？逆に質問したいです。アンケートに一生懸命答えました。ただアンケートをとっただけで終わらせず、役に立ててほしいと切に願います。
45	高齢者が参加可能な仕組みがあると参加しやすい。送迎があると参加しやすくなる。有料でも良いと思う。
46	健康に関する講演会？をひらいて（健康づくり）（広報などを充実させる？） 長沼町の人の意識をレベルアップさせるとか？（若い人の意識がいがいと低いのが気になる）他人事だと思ってる…

47	中国語で長沼の勉強がしたい
48	町民会館を町民の意見も聞かずに使用中止にしておいて、こんなアンケートを今さら取ってどうするのですか。こういうやり方した出来ないのですか、町長は。
49	必要に応じて個々に行なうもので、御膳立てはいらない。じいさん、ばあさんの集会所は特に必要無い。本当に世の中に役立とうとしている人を支援してほしい。
50	今、私は野菜を作るのにはまっています。雨、台風、土作り、肥料色々な事を頭に置いてネットや近所の方に助言いただいたり、ためしたり、そして出来た時の嬉しさ。これこそが生涯学習にふさわしいのではと思ってしまう、私がいいます。
51	女性、老人において、防犯のための護身術を習いたい
52	大きな地区でなく行政区以下の小さな単位で行う集まりとかで周知したいこと、意見を求める会合を開いたり、もっと小さな単位が参加しやすい活動があればよいと思っています。
53	※特色のある長沼町 ※北海道北緯 43 度全体把握と他を繋ぐ行政！
54	高齢者は時間はたっぷりあるから出来ることには参加したいと思うが、交通の利便がポイント
55	必要ですか？
56	いろいろな趣味の会がありますが、若い人の参加が少なく高齢者が多い。近い数年後には、なくなるという心配があります。何か良い方法は？
57	高齢者が通いやすいように、スクールバスのようなものを運行してあげてほしい
58	地域に知り合いがいらないため、生涯学習への参加は長沼町という町を知る良い機会でした。忙しい中、いろいろな企画、頭が下がります。これからも町民の“元気”を支えてください！！
59	人と人の交流は生きがいです。
60	町内で参加したことも情報を探したこともないので、まだ良く分かりません。
61	生涯学習で得られた生きがいやコミュニティによって、豊かな老後を過ごせる。
62	時代にマッチさせる
63	米作りや畜産（羊、にわとり、馬、牛等）は専門的な人しか始めることができない為、初心者にはハードルが高いです。手軽に始めることができる体験会やサークルがあれば参加してみたいです。
64	多種多様に亘る生涯学習についてアンケートを行い何をどう活用しようとしているのかが判らない。いろいろな活動を支えるための環境整備はどうあるべきかを考えて欲しい。町内にどんな活動が進められているかの情報を知りたい。
65	学習する側も楽しいけど、講師育成みたいなものもあると良いかなと思います。
66	町民プール毎日利用しています。10月10日以降はリフレに行きますが、土曜日休みなので残念です。長沼町民でよかったことはプール利用です。体調は良いです。
67	施設、指導者の充実、学習内容の多様化・充実など
68	学習する機会が欲しいと思うが、開催が少ない、金銭的余裕もない、リフレも無料にして欲しい、「学習のため」以外の理由で孤立しない、行動する人と会う、精神の安定という意味でも、活動機会があると嬉しいと常々思ってます。
69	防災に関しての講習会などがあつたらうれしいです。
70	町内に沢山色々な趣味を持った方々がいらっしゃいます。より豊かに楽しく生活出来るよう、町の

	講習など有れば良いと思います。
71	このしつもんじたいがなんせんす
72	脳トレには絶対必要な生涯学習。健康で長生きのための生涯学習。いずれにしても、交通手段が必要。足の確保をお願い致します。
73	このようなアンケートの郵送費ももったいないので、よい方法がないか。
74	ボランティア活動を何年かしてきたが知識技能などない。でも楽しく仲間とも交流した事が私にとっての嬉しい喜びであった。
75	時間のあるグループ（世代）とないグループ（世代階層）と提案する学習機会のあり方についてルールを改定（考えて）する必要がある。学習機会（場所）は基本有償で考える（与える）べき。そうしなければ増々学習の格差は広がる。
76	広報無線 アナウンスが全く駄目 原稿を間違えず読むだけ… 知らせる事を念頭において、ゆっくりと・・・ 場所、時間等は今のスピードで良い。詳しくはホームページ、係に… 老人にはついていけない。
77	過去に生涯学習の講師をしていたために楽しいと思ってもらえるようにがんばってもらいたい
78	栄町区にとって、中央会館が諸々の活動の中心となっていたが、町民会館の廃止に伴い、会議等の場所取り競争が発生し、区内の諸々の活動が制限されている状況がある。町政の施策である町民会館の廃止については、完成までの空白対策は極めて不十分であり、学校が完成するまでの間の代替え策も十分周知されていないと考える今、生涯学習や地域活動についてのアンケートを求められてもなーと感じてしまう。地域住民が、気軽に集まり、お互い気楽に談笑出来ることが、地域活動の基本であり、地域の繋がりの強化について、思考錯誤しながら取り組んでいるなか、その場が狭くなることは残念な現象でしかない。
79	生涯学習のことを考えるより、基本的な町の整備のことをきちんと取り組んで考えてほしい。公園や施設の整備すらできていないのに「生涯学習」のことを考えるのは順番が違う。
80	資格取得のための補助金（テキスト代、受験手数料、受験会場までの交通費等）があったらもっと費用を気にせずに学べるだろうになと思っております。もちろん無条件でが一番嬉しいのですが、難しい場合は町内在住者のみとか、資格取得後年単位で町内勤務を必須にするとか、やりようはあると思います。
81	・車があってもりふれは遠い ・商工会は階段がキツイ
82	パソコンやスマホについて、初歩的な質問に答える部署を、周知ください。放送大学は、誰でも、いつでも、どこでも学べます。老人学生同士の、教科や地元課題の学習や情報交換は、楽しく有益です。教委が広報で呼びかけ、温泉、図書館等での会合を斡旋ください。温泉水からレアメタルを回収、地熱の活用、民法や成年後見の学習も楽しい。民間医師が充実する中で、「町立病院の在り方」の学習も、格好の題材です。
83	私は今のところ特に興味はありませんが、行きたい・参加したいと思っても、中央の人は行けるが、車がないバスがないでは、参加できない人が多数いるのでは。
84	個人的にまだその時じゃない
85	私現在満 81 歳に成ろうとしています。月日の経つのが早くて楽しくてなりません。とにかく休む

	時には充分休み、時間の有る時は歩く、書く、回りの片づけ等々、好きな事を休まずやっています。これが、その人、その人の生き方と認識致して居ります。
86	生涯学習の内容がよくわからなかった。
87	町民会館が使えなくなり不便を感じている。町は町民会館の閉館をいつ決めたのか？少なくとも私は4ヶ月程前である。町民周知は充分であったのか？
88	前ページに書いたように、私、父・母・兄弟3人5人が死に、一人になってゆっくり死を迎えようと長沼に来たのが悪かったのか、弱い方が私の前に近づいてきて困っています。おばあさんの場合デリケートなので（生ごみ・オムツ）、このまま一人かってボランティアは私も年なのできつくなっています。役場の方々も大変でしょうが、声をあげられない一人暮らしの老人をもっと知ってほしいです。
89	特にこの町で期待はしていない。何をしているのかもよくわからない。
90	特にありません。押しつけられているような気がしています。
91	がんばって下さい。
92	最初に生涯学習って何ですか？と思う。どういう人（ヒマな人）が時間を費やすため？家から出るためなら、もっと楽しいことをしてください。※あまり難しい言葉を並べて分かりづらいです。
93	上記に書きましたが、住人が利用しやすい居場所作りは年齢を重ねていくと特に大切であります。長沼には公民館のような施設がなく、これから西部、東部センターの施設整備が求められてきますので、利用しやすいように願います。 ※この住民アンケートを集約後に、住民対象に意見交換の場を求めます。アンケートだけでは、町民の声が届いているか、行政ではどのように考えているかが分かりません。是非実施くださるよう切に願います。
94	・他の市町村でやっている短期講座（春、秋）などがあると嬉しいです。 ・心と体を整える両方の講座があると嬉しいです。
95	好きな人が好きな時に好きにやれるのが良いと思います。
96	情報があまり伝わってこない。
97	生涯学習の学習内容の充実や種類 ①手編教室（毛糸の靴下・帽子作り） ②華道教室（回数制限あっても良い）⇒お正月用の花を生けるなど ③パッチワーク・小物作り
98	20年位は先を見据えて計画しないとダメ。学校も他の施設も同じだと思います。
99	人生常に自己研鑽に努めなければなりません。私は70を過ぎております。手前味噌ですが、長年色々な資格取得に努めております。今回のアンケートに生涯学習の重要性が記載されております。申し訳ありませんが、町職員特に責任者の大部分が、自己の仕事に責任をもって取り組んでいる姿が見えません。もし自己の仕事に責任を持って取り組んでいるとしたら、今回のような事態は起こらなかったと思います。又、責任者が中心になって自己の部署の勉強会を開き問題点を共有していたら、担当者の誤った説明は起きなかったと思います。 私は一貫して今回の問題が生じたのは、窓口に来た町民に説明するための書類を作成して置かなかったからだと話しましたが、そのような書類は作成されていませんでした。担当者のスキルに関係なく町民に対して同じ話をするためには書類を作成して置く必要があります。そのためにも職員特に責任者が自己研鑽に努め、勉強会を開催して欲しいです。

100	子供・大人が習い事などやってみたいと思っても、探すことが大変なので、LINE で探すことが出来れば良いです。
101	働いている人には時間が合わない。土日が休みなので使えない。
102	学習より体力維持等
103	将来長沼町の発展を期待しております。
104	・馬追運河の整備をお願いします。ほとんど草だらけです。 ・中央プールのロッカーの交換してください。錆だらけでとてもひどい！！ ・町内空き家の活用
105	生涯学習の大きな拠点であった町民会館を取り壊すことを、多くの町民の反対があったにもかかわらず決めてしまいましたね。文化の軽視だと思えます。長沼町にふさわしい、長沼の特徴を生かした代替施設をつくってください。
106	広報誌で周知をするのであれば、別枠) 別紙) で載せてもらった方が分かりやすい。 ※大人の生涯学習だけではなく、子供の習い事の情報も欲しいです (一覧表のようなもの)。少年団関連はポスター等見かけますがその他。書道、ピアノ教室等。親同士のつながりから情報を得るしかないので、広報誌で紹介してくれたらすごく助かる。お願いします。
107	年老いてからはつらい。
108	他の市町村のように選べる講座等あれば参加したいと思っている
109	少なくとも町内で活動されている様々な団体の情報や、町が主体で行う内容の情報の一元化をしてほしい。例えば、町内のサークル活動などは、以前は町民会館の掲示板でしか知る機会がなく、自分で探すことは現在では難しい。(町民会館が閉鎖されたため) ※アンケートは一世帯に1つ提供されるのは良いが、回答は個人ごとにでもできるようにしてほしい。家族でも意見が異なることもあるはず。
110	長沼町が町民のことを考える。長沼町民の活動の場や機会を長沼町が奪わないようにし、むしろ助力する。
111	町民主体の学習活動を推進してほしい。そのために、専門的な職員を増やしてほしい。
112	身近な環境で取り組めるように情報が欲しい。
113	町内会や老人クラブ役員に社会教育の情報を伝え、興味関心を促すことからスタート。そこから構成員に情報を伝達し、楽しさや知識を得ることが人生のスパイスになることを学ぶことが出来ればよいのでは……。関係者が同じ方向を見ないと出来ない。
114	役場や公共施設の人々が出ていく外へ。そのために商店の空家を活動の場に用いて外を歩く人々が楽しく助け合う、交わる場所。町より助成金が出たら。町と町民の一体化が理想です。商店街がさみしい、何とかならないか。何が欠けているのか。高齢者の人々の用いるなら生きがいに経験でボランティアに用いることも 助け合う いきがいに。
115	中高生ボランティア活動の取り入れ (校舎前の花壇等……)
116	中心となる拠点が必要である。町民会館を壊すことは、生涯学習の意義を十分に考えているのか愚かな行為である。
117	近年大人も子供も忙しい日々、そんな中ひまさえあればスマホを見それなりに楽しいのかも知れませんが、人と人との結びつきが大切だと思います。親として子供達に何にでも関わって行く事を教

	えてあげる事を望みます。何かを続けることで生涯学習につながってゆくとおもいます。
118	趣味的なものも含まれるなら、町にどんなサークルがあって、どんな活動しているのか、いまいち調べても出てこないと思ったことがあります。ネットで探せる様にするとか、広報で特集するとか、どこかの掲示板を見れば、沢山情報が得られる等あればなと思います。また、そういった情報を持っている人（役場で）がいるなら、連絡して聞きやすくするとか。例えばヨガがしたいなーと思ったら、その人にきけばどこでやってるとか教えてもらえるとか。
119	なんで今、生涯学習？いみがわからない！！
120	・小さくても、コンパクトなもので良いから、ふらっと寄ってのぞいてみたくなるような生涯学習施設があるといいですね。（新たな施設を望むものではありません。既存施設でリニューアル出来れば、十分です）
121	そもそもこのアンケートの意義が分からない。問14では「今まで『生涯学習』を行いましたか」とあるのに関わらず、問16で「この1年間で『生涯…』となっており、この1年間であればやっていないと思い疑問に感じました。（町民に生涯学習をやってもらいたい？？ただ単に関心を持ってもらいたい？？）（長沼町に住んでからはやってないです。札幌にいたときは近所に地区センターがあったため、ふりっばーを見て参加していました。）
122	長沼町としてどのように取り組んでいますか？
123	移動芸術鑑賞の回数を増やしてほしい。（札幌に限らず、鉄道・恐竜・花・果物など…）
124	「生涯学習」なるものは、すぐれて個人的なものであると考えるので、行政の手を煩わせてはいけません。
125	生涯学習を気軽に行う場所がないと思います。以前であれば町民会館ですが、車を運転できない人が気軽に行ける・交通の便がいい場所がない。バスの便数、バスの停留所がかわり不便で気軽に行ける場所がない。 高齢者等に気軽に生涯学習(スポーツ・勉強・習い事)ができる情報を提供してほしい。町民の方がやっていることなど。 前期基本計画ではどのような計画を立て生涯学習をやってきたのか教えてほしいです。
126	必要なし
127	文化センター、町民会館、加々野センター、コミュニティセンター。名称は何でも良い。活動が制限なくできるような場所がほしい。
128	①役場に設置している地区担当者との交流機会が全くない状態です。何か対応策を考えたか？ ②栗山、由仁、長沼3町で連携した企画でコンサートを開催し、札幌からも集客を呼び込む
129	書くの面倒。似たような質問が多く面倒・いやがします。
130	平成5年、町広報誌の案内を見て、NHK 社会福祉専攻科2年コースへ入学（社会福祉概論始め12科目）。平成7年終了。平成7年3月31日東京渋谷 NHK ホールにて終了式に出席。社会福祉ボランティア士の資格認定を取得、学科は札幌かでの2・7で、実習は長沼陽風学園でさせて頂きました。そうした出会いの御縁で4月より毎週おけいこが旧町民会館にて行われました。これは私の真のボランティア活動の始まりでした。内容は先ず長沼町の郷土芸能長沼音頭（明るいリズムの曲）と誰もが知っている全国各地の名曲の踊りを指導致しました。平成7年11月3日の町民文

化祭には初踊りを発表し、その後も 13 年間欠かず事なく出演して町民の皆様にご好評をいただきました。同封いたしました文書は私が平成 13 年に作成したのですが、舞踊さくら会を設立以来今日迄約 34 年間、郷土芸能長沼音頭、長沼小唄の踊りがうもれる事のないよう継承に務めて来た内容でございます。令和 6 年 3 月 21 日、同封致した文書の内容を達成させる為に、間嶋教育長様へ提出したものです。此の度は文化協会長 望月様の御意向のもと、私も高齢ですが、文化協会も踊りサークルの指導者は私一人となりましたので、何とか高齢（88 歳）にムチ打って人生最後のボランティアの活動として頑張っております。 本町の第 3 期長沼町生涯学習推進計画(本書 22P)の中に書かれていますが、この長沼音頭・長沼小唄の曲と踊りは先人の知恵と工夫、そして多額の財源を投じて作られたもので、真に長沼町の 73 年の歴史ある郷土芸能といえるのではないのでしょうか。(本書 23P) の①②の内容を少しでも実現出来ますように……。今私共の活動を続ける為に長沼町の郷土芸能保存会ときちんと認定していただく事がとても重要な事です。ぜひ早急にご検討下さいますよう切にお願いを申し上げます。 大変乱筆になりましたがお許しを。